



# 経営支援NPOクラブ ニュースレター

**2024 年度版  
年間活動報告書  
(2024.04.01～2025.03.31)**

**2025 年 5 月発行  
[www.ka-npo.com/](http://www.ka-npo.com/)**

## 目次

|              |   |
|--------------|---|
| 理事長 酒井 基次 挨拶 | 3 |
|--------------|---|

### (支援実績及び活動状況)

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 1. 《経済産業省 中堅・中核企業PF構築》(ヘルスケア分野)      | 5  |
| 2. 《農林水産省》                           | 7  |
| 3. 《国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)》 | 7  |
| 4. 《足利銀行 ものづくり企業展示・商談会2024》          | 7  |
| 5. 《金融機関チーム「めぶき ものづくり企業フォーラム2025」》   | 8  |
| 6. 《秋田県「医療機器サプライチェーン再構築チャレンジ事業」》     | 8  |
| 7. 《みやぎ産業振興機構》                       | 10 |
| 8. 《宮城県気仙沼地方振興事務所》                   | 10 |
| 9. 《「メディカルクリエーションふくしま2023」出展企業支援》    | 10 |
| 10. 《福島イノベーション・コースト構想推進機構》           | 11 |
| 11. 《福島県産業振興センター》                    | 12 |
| 12. 《いわき商工会議所》                       | 12 |
| 13. 《栃木県》                            | 13 |
| 14. 《埼玉県》                            | 13 |
| 15. 《鹿沼商工会議所》                        | 14 |
| 16. 《板橋区産業振興公社》                      | 14 |
| 17. 《板橋区・北区ものづくり企業商談会》               | 15 |
| 18. 《長野県》                            | 15 |
| 19. 《浜松地域イノベーション推進機構》                | 16 |
| 20. 《三重県(ヘルスケア)》                     | 16 |
| 21. 《大阪信用保証協会》                       | 17 |
| 22. 《大阪府信用金庫協会》                      | 18 |
| 23. 《尼崎地域産業活性化機構(AIR)》               | 18 |
| 24. 《近畿高エネルギー加工技術研究所(AMP I)》         | 19 |
| 25. 《しまね産業振興財団》                      | 20 |
| 26. 《島根県グリーンビジネス戦略構築》                | 21 |
| 27. 《かがわ産業支援財団》                      | 21 |

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 28. 《高知県産業振興センター》                | 22 |
| 29. 《四国STEPヘルシー四国》               | 22 |
| 30. 《STEP2：一般財団法人 四国産業・技術振興センター》 | 23 |
| 31. 《モクコレ》                       | 24 |
| 32. 《産業交流展》                      | 25 |
| 33. 《新価値創造展》                     | 26 |
| 34. 《組合まつり》                      | 26 |
| 35. 《日本食糧新聞社》                    | 27 |

## ＜経営支援NPOクラブ内のグループの活動報告＞

|                        |    |
|------------------------|----|
| 36. 《Aグループ》（農林水産、食品他）  | 27 |
| 37. 《Bグループ》（化学、素材、環境）  | 28 |
| 38. 《Cグループ》（機械、電機）     | 28 |
| 39. 《ヘルスケアグループ》（医療・介護） | 29 |
| 40. 《Eグループ》（ICT、その他）   | 30 |
| 41. 《関西グループ》           | 31 |
| 42. 《次世代育成支援グループ》      | 31 |

## ＜研究会・タスクチームの活動報告＞

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 43. 《新素材研究会》             | 32 |
| 44. 《エネルギー産業研究会》         | 32 |
| 45. 《中小企業経営強化支援チーム》      | 33 |
| 46. 《環境事業支援研究会》          | 34 |
| 47. 《デジタル・イノベーション支援チーム》  | 34 |
| 48. 《自然大災害復興支援プロジェクトチーム》 | 35 |
| 49. 《起業家支援チーム》           | 36 |
| 50. 《人材不足対策チーム》          | 37 |
| 51. 《特定支援会員連携チーム》        | 37 |
| 52. 《国内・国外ポータルサイトチーム》    | 38 |
| 53. 《子ども食堂支援チーム》         | 39 |
| 54. 《広報委員会》              | 40 |

## ＜2024年度の活動概要（事務局報告）＞

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 1. 公的機関等からの受託契約実績                 | 41 |
| 2. 2024年度支援実績                     | 42 |
| 3. 2024年度4月以降の理事会での主な討議事項（対外事項のみ） | 42 |
| 4. 会員の現況（2025年4月末現在）              | 42 |

|        |    |
|--------|----|
| （編集後記） | 43 |
|--------|----|

※ 番号の付いている見出しをクリックすると、所定のページに飛びます。

## ご挨拶

(2024年度総括)



理事長 酒井基次

2024年度は海外の政治・経済情勢や円安等の影響もあり、原油・原材料価格の高騰、部材調達難、人材不足といった厳しい事業環境は依然として継続しており、未だ予断を許さない状況にあります。

中小企業の皆様におかれましてもこのような社会・経済的環境の下、様々な影響を受けているかと存じますが、外的要因の影響が軽微であることおよび事業回復・成長への取り組みが順調に進むことを祈念いたします。

NPOクラブの活動については、期首計画では経産省中堅中核企業経営力強化支援案件等もあり黒字予算でスタートいたしました。しかし、失注案件や案件規模の縮小等により中間見直し時点では、経常費用が経常収入を上回り、結果として赤字見通しとなりました。その後、イベント案件の増収や経産省案件の計画どおりの進捗、固定費の予算以内での進捗等により、3期ぶりに赤字を脱却できる見込みです。会員一同は新年度も販路開拓支援を中心に種々の支援活動に積極的に取り組む所存です。

皆様には引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

以下、NPOクラブの第23期(2024年度：2024年4月～2025年3月)の活動についてご報告いたします。

なお、支援の内容の詳細に関しては、後出の案件毎の報告をご参照願います。

2024年度も中央官庁、自治体、公益法人、商工会議所、金融機関、支援企業等の皆様から数多くの案件を受託することになりました。支援活動として、販路開拓支援、展示商談会支援、事業・プロジェクト支援を主体にした中小企業への経営支援活動、大学等の教育機関での講演、インターンシップやサイエンスアゴラへの出展などの次世代育成支援等を行いました。

その結果、事業収益に直結する支援企業数は1,371社、支援回数は3,086回となり、いずれも前年度を上回り、支援企業数は過去最多、支援回数は2018年度に次ぐ実績となりました。支援内容としては、マッチングなどによる販路開拓支援が中心ですが、総合的な経営相談、デジタル技術活用支援、新技術の事業化支援などの新しい支援活動も定着してきました。

また、2024年度は3年毎に策定しております中期活動方針の初年度にあたりました。中期活動方針は、高齢化・人口減少、人材不足、円安・物価高等の社会・経済環境及び生成AIの進歩等の技術環境の大きな変化が予測される中で、NPOクラブでの研究会活動内容等も活かして社会ニーズに合わせた柔軟な対応ができる組織活動の展開を目指して策定しました。

A. 中小企業への経営支援活動（収益活動）

B. 社会貢献活動（非収益活動）

C. 運営体制の整備・充実

の3つの基本方針の下に、委託元から受託した支援活動に加えて、毎年重点課題を設けて会員がチームを組んで課題達成に向けた活動をしています。

24年度の重点課題は

①スタートアップ企業支援

②新領域収益事業開拓

③人材不足対策支援

④会員の活躍し易い環境の確保の新規

の4課題を含め、12課題を設定しました。

「A. 中小企業への経営支援活動」では、案件委託元（中央官庁・自治体、イベント企業、金融・商工会）との連携強化、新技術の事業化支援、デジタル技術の活用、

「B. 社会貢献活動（非収益活動）」では、次世代育成支援活動の推進、有望中小企業の発掘と総合的支援、

「C. 運営体制の整備・充実」では、デジタル環境整備と正会員対応力向上

などを挙げました。

課題の達成状況については年末の報告会で確認いたしました。

組織および個人のポテンシャルアップを図り、中小企業の支援活動等に活かすことを目的に発足した研究会・タスクチーム（4研究会・9タスクチーム）は、内部活動として着実に各関連情報の収集・支援活動への活用準備の活動を行っています。（研究会・タスクチームについてはホームページ「NPOクラブとは-組織図」で、活動の詳細については後出の報告でご確認願います）。

NPOクラブの更なる発展のためには、皆様のご支援・ご協力の下、中期活動方針に則り、中小企業支援、次世代育成支援、自然大災害復興支援等の社会貢献活動において、より実効性を高め、枠を拡げた支援活動に邁進することが必要です。

引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 支援実績及び活動状況

### 1. 《経済産業省 中堅・中核企業PF構築》（ヘルスケア分野）

2024年度、経済産業省の『中堅・中核企業のプラットフォーム構築による新事業展開支援事業』が公募され、当NPOクラブが補助事業者として受託しました。これはテーマ型の案件で、「ヘルスケア分野」に新事業の展開を企画している中堅・中核企業を支援するためのプラットフォーム構築を目指すものです。当NPOクラブではヘルスケアグループを中心として、多くのメンバーが関与し主体的に取り組んできました。

本補助事業における支援のターゲットは、ヘルスケア産業における医療技術のイノベーションや介護・福祉領域での各種課題の解決を目指している中堅企業（異業種を含む）であり、かつ、経済産業省選定の「地域未来牽引企業」として高い技術力や成長性を有し、地域経済活性化や雇用拡大などの経済効果を及ぼすことが期待できる中堅企業としました。これらの企業のヘルスケア分野への新事業構築を支援しました。

当NPOクラブは、補助事業者として、各中堅企業の個別経営課題を解決し、新事業展開計画策定のための伴走型支援を実施し、全国規模で産官学を含む地域連携プラットフォームを構築しました。各企業の新事業計画策定への支援は、当NPOクラブのこれまでの中小・中堅企業の経営支援活動実績を根拠とするものです。これまで当NPOクラブが獲得してきた多くの事業化支援ノウハウを生かして、各企業の支援および全国規模での連携プラットフォーム構築に取り組みました。支援対象が、従来の中小企業のみならず、中堅・中核企業にまで拡大されたことで、当NPOクラブの支援方法や知見・技術が進歩したことは確実です。

本補助事業の具体的な成果としては、次の3点が挙げられます。

- 1 対象中堅・中核企業の意識醸成のための活動
- 2 各支援企業の現状での課題の可視化およびその解決方法の検討
- 3 支援各企業の課題解決に向けた連携プラットフォームの構築

#### 1 対象中堅・中核企業の意識醸成のための活動

「医療・福祉・健康分野への新事業展開セミナー～中堅企業の医療・福祉・健康分野における新事業構築支援～」と題して、8/28（水）、対象である中堅・中核企業に参加を働きかけ、ヘルスケア産業への進出の意識醸成活動を行いました。3人の講師（経産省 経済産業政策局の木本一花氏、元オリンパス（株）代表取締役社長で医療機器産業研究所（MDSI）上級研究員の高山修一氏、国産初のIABPバルーンカテーテルを開発し、映画『ディア・ファミリー』の主人公のモデルとなった（株）東海メディカルプロダクツ会長の筒井宣政氏）による講演を行いました。セミナーの応募企業数は目標の50企業（内、地域未来牽引企業数は29社）を超え、80名超が来場。オンラインでの参加者は127名に上り、総参加人数計207名に達する盛況を得ることができました。

## 2 各支援企業の現状での課題の可視化およびその解決方法の検討

上記のセミナーに参加した地域未来牽引企業かつ中堅・中核企業２９社の中から１０社を選定し、新事業展開計画への伴走支援を行いました。選定１０社（先方の都合で９社）の企業名は省略。

9社に対しては、NPOクラブ担当者各2～名を中心にして、事業計画の可視化⇒課題の可視化⇒方向性の検討⇒課題解決のための連携活動⇒事業計画策定検討というステップを通して伴走型支援を行いました。必要に応じて、専門家（連携機関を含む）を交えて検討会議を行いました。各過程で必要となる分析の方法論についてはセミナーを実施し（11／14－18）、支援9社に対する伴走型支援の説明を行いました。

支援9社は、各過程において支援を受けるために規定された必須フォーマットを作成、9社とも、全フォーマットをクリアできました。その結果、本事業の今年度の目標であった新事業計画策定（5社程度）に対して、7社について最終的な計画策定に向けた方向性が確立でき、目標は十分に達成できました。

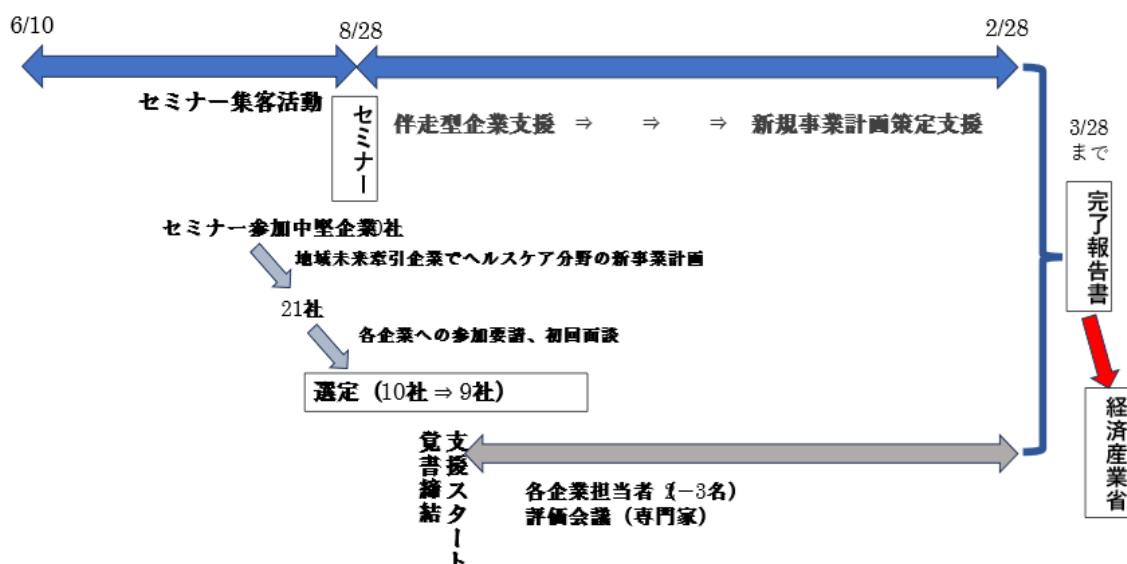
### 3 支援各企業の課題解決に向けた連携プラットフォームの構築

支援各企業の個別の課題をそれぞれ明確にし、その課題解決に向けての連携プラットフォームを構築しました。即ち、各企業の課題解決に必要な情報や技術アドバイスおよび販路を提示できる機関を集めて、プラットフォームとしての活動につなぐことができました。連携機関として、大学（東北大学、他）や公的支援機関（JETRO、産総研、医療機器センター、他）、民間シンクタンク（ドゥリサーチ研究所、他）および大手の医療機器メーカーを招致することができました。



## 講演の様子

## 経済産業省案件 今期の活動



## 2. 《農林水産省》

農林水産省「令和6年度『知』の集積による産学連携推進事業のうち産学官連携協議会運営等委託事業」における研究開発プラットフォーム等の社会実装伴走支援業務を再委託業務として実施しました。

産学官連携協議会の研究開発プラットフォームに参加していて、事業化サポートを希望する会員を対象に、専門領域を有する専門支援者の立場で支援先1社に対して2名の支援体制で、会議においては専門知見の提供・助言、現場活動においては事業化・社会実装に向けた企業等とのマッチングの設営、立会い等の支援活動を行うこととしました。

キックオフ会議、定期的なサポート会議で会員の目指す事業化構想を議論し共有化した上で、必要に応じてマッチング等の支援を行いました。また、伴走支援の期間中に支援内容のブラッシュアップを図る目的で開催された支援先と産学官連携協議会理事（大企業R&D・農業経営・研究機関・大学メンバー）との意見交換会（ピッチ）に参加し、支援先のフォロー役を務めました。

## 3. 《国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）》

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）案件「再生可能エネルギー分野の研究開発に取り組む中小・スタートアップ企業の事業化促進に向けた市場・動向調査及びビジネスマッチング等の実施」におけるビジネスマッチングに関して再委託を受け、実施しました。

本事業は、「新エネシーズ発掘事業」で採択された中小・スタートアップ企業の開発成果を着実に事業化するために、市場・動向調査を行い、事業紹介や商談等を行うためのマッチングの場を提供し、ビジネスの発展に繋げることを目的としています。

ビジネスマッチングの実施に際しては、1社2名の体制で2回のヒアリングを行い、事業者が具体的なビジネスに繋げるための課題を抽出し、課題解決のための効果的な手法について議論し、事業者にとって確度の高いマッチング対象者を掘り起こすこととしました。

ビジネスマッチングは、2024年12月に東京と大阪で開催されたピッチイベントを含む「再エネベンチャービジネスマッチング会」でのリアル面談を中心に、リアルまたはオンラインで当初の計画を大幅に上回る件数の面談が行われ、その中には継続的な関係へと発展したケースもいくつかありました。

## 4. 《足利銀行 ものづくり企業展示・商談会2024》

本年も足利銀行主催の「ものづくり企業展示・商談会2024」への発注企業の招致と商談のサポートを受託しました。

本商談会のサポートは7年目となります。11月21日（木）、宇都宮マロニエプラザで開催され、出展企業190社、発注企業51社、商談数230件で行われました。



内、NPOクラブは29社を招致、94件の商談をサポートしました。発注企業のおよそ半数、

商談では4割に及びます。

NPOクラブメンバーがサポートした商談では、6割以上で見積の依頼や、共同開発につながり、出展企業、招致企業の今後に大いに貢献したものとなりました。



## 5. 《金融機関チーム「めぶき ものづくり企業フォーラム2025」》

今年度初めて、めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行、足利銀行が主催する「めぶき ものづくり企業フォーラム2025」への発注企業の招致と商談のサポートを受託しました。

これは足利銀行主催の「ものづくり企業展示・商談会」のご縁でお声がけいただいたもので、当NPOクラブも後援者となりました。

3月18日（火）につくば国際会議場で開催され、出展企業は175社、商談数294件となりましたが、NPOクラブは16社を招致し、商談では72件をサポートしました。

当NPOクラブのサポートにより商談件数が大きく向上したばかりでなく、半数以上が見積の依頼や、共同開発につながることになり、関係者に満足いただけるものとなりました。



## 6. 《秋田県「医療機器サプライチェーン再構築チャレンジ事業」》

秋田県では、厚労省がコロナ感染時の混乱から大手医療機器製造販売事業者に対して、部品・原材料調達先、いわゆるサプライチェーンについて検討するよう方針を示したことを契機に、県内企業の医療機器産業サプライチェーンへの参入や医療機器の製品への取り組みを支援する事業を公募しました。これに当NPOクラブが応募し、秋田県から初めて受注しました。

### 1. 医療機器メーカー等のサプライチェーンへの参入支援

- ・ 応募企業13社と面談（内12社現地訪問）し、現状把握及び支援に対する要望などを聞き、既存製品に対するアドバイス、カルテシート作成、PRシート作成、マッチング、個別支援などの伴走支援を行いました。
  - ・ 2024.10.9～11、幕張メッセで開催されたメディカルジャパンで、秋田県ブースの出展業務を行い、秋田県から出展の4社に対してマッチングを行いました。
- 開催後はアンケートを実施し、出展企業4社、招致企業7社から貴重な回答を得ました。

- ・マッチングは県内企業12社に対しトータル25件実施し、成果に繋がる面談8件、内3件の受注ができました。

## 2. 県内企業の参入に向けたセミナーの企画開催

下記のようにセミナーを行い、県内企業8社、12名の参加がありました。

\* 日時：令和6年7月23日（火）13:00～15:10

\* 場所：秋田県庁第二庁舎会議室とZOOMによるオンライン受講

\* 講演（2件）：

①サプライチェーンの現状と課題&医療機器産業への参入にあたっての留意点

パーカッションエア・ジャパン株式会社シニアディレクター 三浦秀明氏

②医療機器製造販売業者のニーズとアプローチ方法

キュテラ株式会社顧問 山本章博氏

計画した支援をすべて実施し、当初の「成果に結びつく面談」4件ほど、という目標を大幅に上回る8件の実績をあげ、委託元の秋田県に満足していただきました。

秋田県医療機器サプライチェーン再構築チャレンジ事業



秋田県産業労働部地域産業振興課  
医療福祉産業チーム

## 医療機器サプライチェーンへの参入に係る 県内企業セミナー

～ヘルスケア事業などへの進出・拡販策を支援します～

秋田県では、医療機器メーカー等のサプライチェーン参入に関心がある企業に対し、医療機器等の開発動向や開発ニーズについてセミナーを開催いたします。  
また、セミナー終了後に講師と面談会を行いますのでご案内いたします。

【日 時】令和6年7月23日（火）13:00～15:10

※講師との面談会まで参加の場合は、16:30まで

【開催方法】ハイブリット開催

- ・現地参加：県庁第二庁舎3階31会議室（秋田市山王三丁目1番1号）
- ・オンライン参加：参加者の方に後日お知らせします。

【対 象】秋田県内に事業所を有し、医療機器サプライチェーンへの参入に関心のある企業

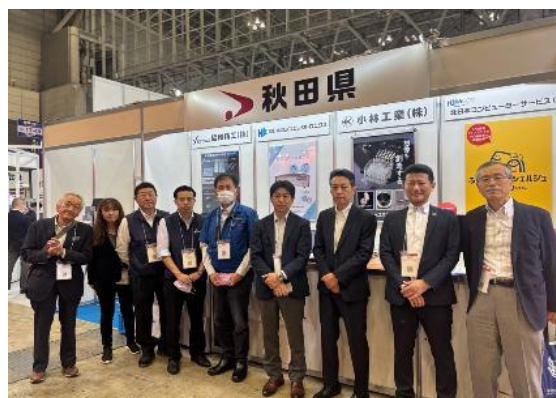
【定 員】50名

【申込方法】専用申込みフォームより申込みください  
（申込期限：7月16日 17:00まで）



<県内から>

JR秋田駅西口から秋田中央交通バスで8分、「県庁第二庁舎前」で下車してください。  
専用駐車場有。



## セミナープログラム

|             |                                                                                  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00～13:10 | 医療機器サプライチェーン再構築チャレンジ事業について<br>秋田県 産業労働部 産業振興課                                    |
| 13:10～14:10 | サプライチェーンの現状と課題&医療機器産業への参入にあたっての留意点<br>パーカッションエア・ジャパン株式会社<br>シニアディレクター 三浦 秀明 氏    |
| 14:10～15:10 | 医療機器製造販売業者のニーズとアプローチ方法<br>ビー・ブラウンエースクラブ株式会社 顧問 山本 章博 氏<br>（経営支援NPOクラブ シニアアドバイザー） |

## 個別相談会（希望者のみ）

|             |             |
|-------------|-------------|
| 15:20～16:30 | セミナー講師との面談会 |
|-------------|-------------|

## 7. 《みやぎ産業振興機構》

2024年度みやぎ産業振興機構からは、引合せ支援事業（コネクション型）、現場改善支援事業（ステージアップ支援）、専門家派遣（生産現場支援）の3つを受託しました。

### 1. 引合せ支援事業

販路開拓のためのマッチングを目的に、今年度の新規引合せ支援、昨年度からの再引合せ支援、各種展示会への企業招致の3つの形があります。

- （1）今年度は12社が対象となり、1社につき6回のマッチングを基本としました。
- （2）その内食品系の企業9社、化学・工業系の企業3社を対象に支援しました。
- （3）食品関係はAグループ・Bグループの、化学・工業関係はCグループ・ヘルスケアグループのメンバーを中心に活動しました。
- （4）展示会への企業招致としては、東京ビッグサイトや幕張メッセで開催された各種展示会に出展した支援企業に対し、ブースへの企業招致を行いました。
- （5）結果として、12社に対し91回のマッチングを実施しました。

### 2. 現場改善支援事業

生産現場において生産工程を分析し、問題点や課題を抽出して業務改善を図るものですが、6年目を迎える今年度は、DX化に向けた体制作りを目標にしました。

リアル及びオンラインでの指導と現地での指導を組み合わせ実施しました。

### 3. 専門家派遣

プラスチック加工を事業とする企業に対し、生産現場の改善や課題解決、人材育成などに精通した会員が専門家として現場に入り、リモートを含め11回の活動をしました。

経営支援NPOクラブが平成22年度に支援を開始して以来、相応の結果が出ていることから、みやぎ産業振興機構は、今後も引き続き、当クラブに事業の委託を行いたいとしています。その期待に応えるよう努力したいと思います。

## 8. 《宮城県気仙沼地方振興事務所》

宮城県気仙沼地方振興事務所が主催する「気仙沼南三陸販路相談会」は、2015年度から開始され、2024年度は、気仙沼・南三陸町の水産加工業者の販路開拓（マッチング）支援事業を受託しました。

1. 今年度は販路開拓支援事業として3社がリストアップされ、9月下旬に相談会を実施しました。
2. 現場視察を含めたBU（ブラッシュアップ）訪問の結果、最終的に2社に絞り、支援事業をスタートしました。
3. 今年度は5件のマッチングを目標に取り組み、6件のマッチングを達成しました。

この相談会は小規模ながらも、被災地の水産加工業者の支援を継続していると評価を頂いていて、2025年度も支援を継続する方向です。

## 9. 《「メディカルクリエーションふくしま2024」出展企業支援》

2024年、20回目を迎えた医療機器設計・製造の展示会「メディカルクリエーションふくしま」が9月末に福島県郡山市で開催されました。

当NPOクラブは、2022年度から株式会社ドゥリサーチ研究所の委託を受けて、この展示会に出展するものづくり企業に対し、展示会に向けたアドバイス等の支援を行ってきました。

医療機器の安全性試験・マッチング・人材育成・トレーニング等を主業務とする「ふくしま医療機器開発支援センター」に事務局を置く「メディカルクリエイションふくしま実行委員会」が主催します。

2024年度は、4社に対しオンライン面談を事前に行い、展示方法等についての助言・相談事項への対応をするとともに、企業の基本情報やアピールしたい技術・製品を1ページに纏めたPRシートの作成を依頼しました。PRシートは展示会や営業活動で利用できるように作成するもので、作成に当たり支援を行いました。展示会では、前出の4社に加え12社の展示ブースを訪問し、展示方法の助言を行うとともに相談事項への対応をしました。これらの活動では当NPOクラブのヘルスケアグループのメンバー6名が、事前調査・支援の実施・報告書作成までを担当しました。

今回支援した企業はそれぞれ優れた技術を保有し、ヘルスケア関連事業への参入を目指し熱心に取り組まれており、当NPOクラブのメンバーもこれらの支援を通して励まされています。

今後も中小企業の皆様の声に耳を傾け、寄り添った支援ができるよう真摯に取り組んでいきます。

#### 第20回 医療機器設計・製造展示会

**メディカル  
クリエイション  
ふくしま2024**  
医療技術の最前線に見て・触れて・体感する



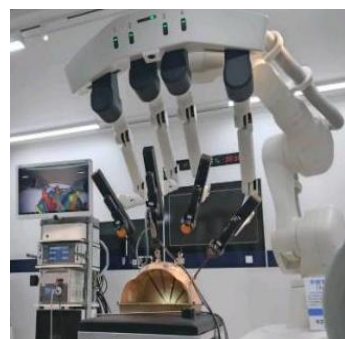
企画  
3

#### 医療機器専門家による 個別アドバイス



OB・OGブースツアー (医療機器産業新規参入の方向け)

自社の技術を活用して異業種からの参入を検討している企業に対し、医療機器メーカーのOB・OGが目利きをし、参入方法のアドバイスを行います。



## 10. 《福島イノベーション・コースト構想推進機構》

イノベ機構より、当クラブが持つ経験・知見が評価されて、同機構が支援する企業に対する「首都圏中心にした大手企業とのマッチングおよび関連業務への支援活動」を受託しました。

受託内容は、製品等のPR効果を高め、その後の販路開拓や取引拡大等に繋げていくことまでめざしたもので、ターゲット企業との面談のアレンジ・ファシリテーションだけでなく、販売促進のために必要なコンサルタント業務も含めたものです。

対象企業は、ヘルスケア関係（リハビリ機器、健康状態の計測機器）企業2社と海産物の陸上養殖企業および汎用搬送ロボット企業の計4社で、マッチング面談は合計で16社と行いました。

各社からは、自社だけでは実現できなかった企業等との面談ができ、継続的な関係構築ができたことに加え、今後の拡販に向けた課題がより明確になったとの評価をいただきました。

#### スケジュール表

|                      | 2024年                                                                                     |    |    |    |     | 2025年               |     |    |                 |       |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----|---------------------|-----|----|-----------------|-------|
|                      | 6月                                                                                        | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月                 | 12月 | 1月 | 2月              | 3月    |
| 契約                   | ▲契約締結                                                                                     |    |    |    |     |                     |     |    |                 | ▼完了   |
| 1 イノベ機構関係            | ●企業説明会                                                                                    |    |    |    |     | ●進捗報告               |     |    |                 | ●最終報告 |
| 2 マーケティングに係る課題把握     | ●初回面談                                                                                     |    |    |    |     |                     |     |    |                 |       |
| 3 マーケティングに係るコンサルティング | ●企業実地調査・課題把握・方向性検討<br>(※現地視察・WEB面談併用)<br>・企業状況・課題把握・方向性検討<br>・ターゲット顧客の選定<br>・プロモーション資料の作成 |    |    |    |     | ●NPO内部会議            |     |    |                 |       |
| 4 海外企業マッチング講座        | ●企業マッチング・マッチング・後援者決定                                                                      |    |    |    |     | ●NPO内部会議            |     |    |                 | ●展示会  |
| 5 フォローアップ            | ●フォローアップ・面談結果・情報整理・今後の対応方針協議                                                              |    |    |    |     |                     |     |    |                 |       |
| 6 内部調整及び最終報告会        | ●内部説明会、11月                                                                                |    |    |    |     | ●全体進捗チェック<br>内部報告会議 |     |    | ●報告書作成<br>成果報告会 |       |



## 1 1. 《福島県産業振興センター》

福島県産業振興センター主催の「次世代自動車技術対応支援事業」も今期で連続 4 年の実施となりました。今年も福島県産業振興センターが選定した 4 社への支援事業を無事終了しました。

自動車の EV 化が進む中でエンジン・パワートレイン系部品の減少が加速される環境下、関係するメーカーはどのような対応をとるべきかについての具体的なアドバイス、伴走支援、自動車関連以外の分野への進出の可能性の検討、そしてマッチングの実施が主たる支援内容でした。これまでアプローチが難しかった企業へのマッチング紹介が総じて好評でした。

今回の支援で福島県下の支援希望対象企業はほぼカバーされたことから、本件対応プロジェクトは終了となる見込みです。

## 1 2. 《いわき商工会議所》

福島県いわき市・いわき商工会議所への 4 年継続しての支援活動で、昨年に引き続き 5 社を対象に 2024 年 10 月から 2025 年 2 月までの契約で、技術開発、販路開拓、企業力強化の支援を実施しました。

各社との初回面談はリアル訪問で行い、当該社のニーズを把握し、要望に沿った支援計画に従いました。関西圏、首都圏、地元いわき市の企業に対し、リアルとweb合わせて 21 回の支援を行い、予定していた支援を終了しました。

### (1) 具体的内容

- 1 招致企業 10 社、商談成立 1 社、見積もり検討中 1 社 5 件
- 2 今後の商談希望 4 社
- 3 NPO クラブの企業体質強化支援 12 回

### (2) 特徴的支援内容

- 1 SN 社・新提案のプロジェクトで必要となった体内埋め込み用の新構造フレキロッドの特性改善の条件設定と評価企業の選定を行いました。
- 2 MJ 社・省力化専用機の安定受注への企業力強化支援として成功企業例の紹介と製品開発方向の見直し策を提言しました。
- 3 IT 社・継続支援としていわき地域の杉・檜間伐材を活用した杉枕等を、北米向け販路開拓先を紹介しましたが福島県原発放射能の影響を指摘され販路拡大は出来ませんでした。ノベルティの販売は好調です。
- 4 SK 社・人材不足解消のため海外人材の紹介企業 2 社を紹介しましたが、即戦力の人材紹介ができませんでした。地域の原発関連元請け企業を紹介し 1 件受注できました。今後も人材不足解消支援、受注増支援を継続します。
- 5 TS・地域企業からの新規案件受託のため新規分野の人工衛星関連部品の加工案件の見積もり依頼を受け価格について検討継続中です。



### 1 3. 《栃木県》（自動車部品、未来技術、新技術が1つに纏まる）

2024年度は4つの支援事業を実施しました。

#### （1）自動車部品サプライヤー事業再構築支援活動

昨年度からの継続事業です。栃木県内自動車関連企業の電動化対応において、栃木県選定2社への支援活動をしました。冷却技術の事業拡大展開戦略の作成や自動車分野から医療分野進出のための情報提供、及び関連する対応に必要な医療規格や企業紹介等が主な支援内容でした。

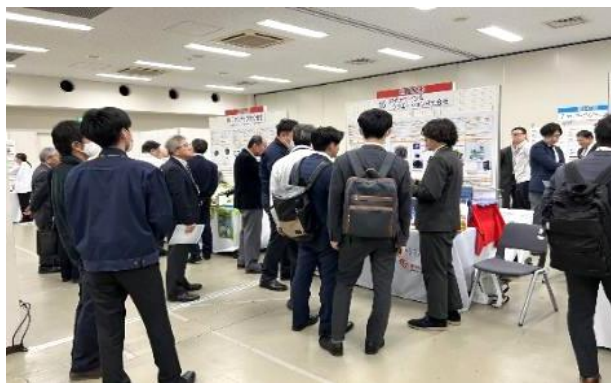
#### （2）未来3技術開発企業伴走支援事業

新事業分野への拡大を目指す2社企業の新製品開発F S調査、及び半導体2次加工分野での事業拡大を目指す企業の事業方針の作成を支援し、関連企業情報の紹介、及び事業方針作成に対して支援活動を実施しました。

#### （3）トヨタ自動車栃木県企業技術商談会事業支援

栃木県企業28社が参加したトヨタ自動車での展示商談会において支援を実施しました。参加企業の保有技術を来場者が短時間で理解できるよう展示方法・資料作成について指導をしました。

トヨタ自動車関連来場者は約430名で、参加企業のアンケート結果も好評の為、次年度も同種展示会を実施する予定となりました。



#### （4）栃木県企業事業計画及び各補助金申請内容評価活動

活動内容は全5回と、栃木県庁会議室及びオンラインで実施し、企業申請書内容及び企業プレゼンへの質疑応答に対する評価をしました。

評価をした企業数は総計51社（NPOクラブ区分では、A：6社、B：8社、C：20社、HC：5社、E：12社）企業名詳細は省略します。

### 1 4. 《埼玉県》

2024年度埼玉県庁による「販売力強化応援事業」の特徴は、事前に自社のSWOT分析を行い、そのうえで販売したい製品やサービスのPRシートを作成して応募するようにしたことです。そうすることにより、応募企業の販売に対する熱意が高まり、結果としてマッチングにかかる時間を多くとれるようになりました。

今年度の応募企業は25社ですが、NPOクラブ側の支援体制を踏まえて、支援企業を15社に絞り込みました。各企業の現地調査を含め支援回数は65回になりました。期間は9月から翌年の2月までですが、マッチング先の都合により3月まで実施しました。

支援活動を通してわかったことは、自社の製品及びサービスに対する強い思いがPRシートに具体的に表示された場合、マッチング先の選定も早くなり、受注につながる確率が高くなるということです。

逆にPRシートに特徴を具体化できない場合は、発注側の担当者から「今の取引先との差別化ポイントがよく分からない」とみられ、検討対象にならないということです。

## ■事業のご案内

- 1 対象者 埼玉県知事から承認を受けた経営革新計画承認企業のうち令和6年6月1日現在、計画を実行中の企業者。(過去に「販売アドバイザー事業」を活用したことのない企業者を優先します。)
- 2 支援内容 商談等の経験が豊富な企業OB等をアドバイザーとして派遣し、販売環境の分析(現状分析)、新規販売先開拓の為の手法、新規販売先とのマッチング等、販売力強化に関する個々の企業の御相談に応じます。

当事業で派遣する販売アドバイザーは、NPO法人「経営支援NPOクラブ」に登録する企業OB等です。販売アドバイザーの出身分野は商社、機械、金属、住宅、建設、化学、繊維、食品、流通、医療、IT関係、ほか多種多様です。

- 3 支援期間 令和6年10月～令和7年2月
- 4 支援回数 1社当たり最大4回程度(支援対象企業:15社程度)
- 5 費用 無料(ただし、支援現場が埼玉県内又は東京都内以外となる場合は、専門家の交通費を御負担いただく場合があります。)

## 15. <鹿沼商工会議所>

同商工会議所は、当クラブ発足以来の賛助会員であり、当クラブは、毎年継続して鹿沼市企業の支援案件を受託しています。長年の良きパートナーとして感謝に堪えず、まずは厚く御礼申し上げます。

令和6年度は、9月3日に、鹿沼商工会議所でビジネス交流会を開催しました。鹿沼市企業6社と面談し、アドバイスを提供すると共に今後の販路開拓支援を実施することになりました。参加企業は、木工関連製品、金属などの機械加工企業、食品企業等6社でしたが、併せて、鹿沼市役所、鹿沼信金、足利商工会議所などの参加もあり、ビジネス交流の場となりました。

9月のビジネス交流会に引き続き、10月17日、東京商工会議所でビジネスマッチング会を開催し、鹿沼市からは、鹿沼ワイン、蜂蜜、機械加工企業が3社参加し、マッチング先企業も3社を招致しました。

また、当日参加できなかった鹿沼市の招致企業2社には、10月24日、29日に訪問し、オンライン対応を含め合計8回のマッチングを実施しました。いずれも見積もり依頼を受けるなど 次につながる面談となりました。



かぬま里山わいん

以上の活動を通じて、鹿沼商工会議所からは、次年度も継続して支援要請がありました。

## 16. <板橋区産業振興公社>

板橋区産業振興公社からの業務委託案件は10年以上を重ねています。当初はものづくり企業のCグループ支援案件が多くありましたが、現在は雑貨ほかのEグループ案件が増加傾向にあります。支援12社中、Cグループ1社、HCグループ3社、Eグループ8社でした。

令和6年度当初は、昨年度に引き続き応募が少ないことを危惧しましたが、11月以降応募が増え、結果的には中間見通しより多い実績で終了しました。

その中でスタートアップの個人事業主が3名おり、こちらについてはマーケティングスキル向

上支援コースとして支援しました。産業交流展並びにモクコレ会場などに出向き、関連各社と情報交換をしたほか、事業運営方法などについても指導し、各人及び板橋公社より大変高い評価を頂きました。

3件のマーケティングスキル向上支援コースが大変好評であったことから、今後は各展示会と絡めた支援方法も有効と考え、板橋公社へ積極的に働きかけていきます。



## 17. 《板橋区・北区ものづくり企業商談会》

主催：公益財団法人 板橋区産業振興公社

日時：令和6年10月17日（木）13：00～17：00

会場：北とぴあ13階 飛鳥ホール

参加企業数：84社

「内訳」板橋区：21社、北区：11社、区域外：52社、商談数：164回

当NPOクラブは当初15社を招致しましたが、最終的に当日参加は13社となり、応募企業42社に対し62回の商談が行われました。招致企業はAグループ1社、Cグループ8社（3事業所）、HCグループ1社、Eグループ1社でした。

商談結果は評価3以上が60%以上と高く、有意義な商談会であったと思います。新たに参加した招致企業からは、来年度も参加したい、商談会の規模も丁度良い、との評価を頂きました。また既に取引が始まったとの報告も頂いております。

一般参加の応募企業も板橋区・北区は無料、区域外企業は参加費2,000円と割安であることから、区域外の参加希望の応募が多数ありました。既に令和7年度もNPOクラブ会員から参加応募の話を頂いております。



## 18. 《長野県》

長野県チームの対象は、（一社）信州産学みらい共創会、長野県産業振興機構（NICE）、長野市ものづくり支援センターなどです。県内支援組織連携が進んで、活動が大変活発です。販路開拓マッチングサービスにとどまらず、中小・中堅・企業の「人材育成」のお手伝いでも連携を深めたいと考えています。

## 19. 《浜松地域イノベーション推進機構》

本事業の概要は、新技術・新製品開発及び新分野の顧客開拓に取り組む浜松地域企業を対象に、開発製品・技術の完成度の向上や新分野への顧客開拓等への支援を通じて、企業成長に向けた基礎作りをバックアップすることです。

支援活動の骨子は、企業の開発製品・技術の目利き評価、そのシーズに対応する協業企業紹介及び完成度促進、並びに新規顧客の開拓支援等を行います。

2024年度は、第一次公募に応じた企業4社に対して各社1回ずつ、対面でブラッシュアップを行い、企業の強みや特長を整理した上で、ビジネスマッチングを実施しました。

マッチング先企業は、NPOクラブ会員の協力により合計17社を選定した上で進め、16社については訪問面談を行って内容の深い商談となりました。

その内、2社については面談後、NDA（秘密保持契約）を交わした上での見積り依頼までいただくことが出来ました。さらに1社については、今後、相互に企業訪問を行うこととなり、商談成立への可能性が高まりました。

また、Y社はNPOクラブの特定支援会員契約の申し込みをいただくことができました。



## 20. 《三重県（ヘルスケア）》

昨年度に引き続き三重県（雇用経済部新産業振興課ライフイノベーション班）からの委託事業（医療・福祉機器等ヘルスケア分野への進出・事業拡大支援業務）を受託し、三重県内企業のヘルスケア分野の進出や産業の強化について支援業務を実施しました。

本年度は27社の県内企業を支援し、そのうち新規に支援した企業は10社でした。マッチング支援の結果、10社16回の事業につながる可能性のある成果を得ることができ、県内企業からは高い評価を頂きました。

### <具体的な支援内容>

#### 1. 展示会支援

「メディカルメッセ名古屋（4／18～20）」及び「メディカルジャパン（10／9～11）」の展示会での県内出展企業への伴走支援の実施

#### 2. アドバイザーによる支援

各種相談支援、上記2件の展示会出展企業への出展準備支援やマッチング支援に加え展示会以外でのマッチ



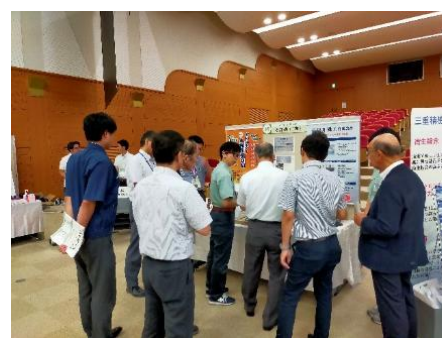
ングや、研究開発・技術・薬事・販路開拓等を伴走支援

### 3. セミナー・交流会の2回の開催（第1回6／12、第2回11／13）

医療・福祉機器開発におけるヒントや参考となる講演と講師との交流会でのコミュニケーションを促進

### 4. 大企業内展示会の開催

NPOクラブの提案支援事業として、過去2回企業施設見学会を実施してきましたが、初めての試みとして大企業内展示会（「技術展示会 in ニプロ」9／4、ニプロ(株)ニプロIMP 3階ニプロホール）を提案し三重県の全面的な支援のもとに開催



## 2 1. 《大阪信用保証協会》

第9回目の開催にあたり、今回も大阪府の内外を問わず様々な分野の中小企業・小規模事業者、公的機関、支援機関、大学など合計169の企業・団体が参加、その魅力を余すことなくPRして、業種や地域の垣根を超えた活発な交流が行われました。

（開催日）11月22日（金）10：00～17：00

（場所）マイドームおおさか 2階・3階展示ホール

（出展者数）169企業・団体（内、企業は9業種・153社）

NPOクラブは、(株)南海国際旅行より展示会への企業招致およびマッチング機会の創出支援活動を受託し、以下を実施しました。

#### （1）企業招致活動および展示会で出展者との面談

出展者から、バイヤーやその他の面談に関する希望を事前に把握して招致活動を行い、62社の企業を招致しました。また当日は、当NPOクラブ会員34名が参加して、出展者との面談を249件実施しました。担当したコーディネーター（NPOクラブ会員）が作成した面談報告書の内訳によると、特に再度商談・後日訪問したい、具体的な見積依頼をしたなどの件数が約4割（97件）あり、今後商談に繋がる可能性を大いに残す結果となりました。

#### （2）WEBシステムによる面談の設定、実施

遠方の企業や、諸般の事情により展示会当日来場が叶わなかった企業を対象に、展示会終了後、再度面談日程を設定しオンラインによる商談会を行いました。招致した企業（バイヤー）数は5社、出展者との面談を15件実施しました。

#### （3）今後の活動について

企業招致活動は当初の目標企業数を上回り、多くの出展者と前向きな商談機会をお持ちいただけたと判断しております。今後は来場者や出展者のアンケート結果やNPOクラブ内で集約した意見や改善点を参照して、尚一層満足していただけるよう運営のレベルアップ、お客様への満足度の向上に繋げていきたいと思っております。



## 22. 《大阪府信用金庫協会》

『大阪府内信用金庫合同 ビジネスマッチングフェア2024』

開催日：2024年6月11日・12日

会場：マイドームおおさか

出展企業数：126社 後援・協賛団体：14団体

昨年に続き2024年度もビジネスマッチングフェアへのバイヤー企業招致を担当しました。招致企業数は45社と昨年を上回るバイヤー企業に会場いただきました。

今年度は、26社の出展企業から、事前にマッチングのリクエストを頂いていましたが、2日間で64件の面談を実施しました。また当日のブース訪問で別途126件の面談を実施し、合計190件のマッチング結果となりました。面談後の弊社クラブコーディネーター（NPOクラブ会員）評価では、見積依頼まで進んだ面談が15件、今後の商談継続が期待できる面談が127件となりました。

2025年度は6月10日、11日に同会場で開催の予定で、NPOクラブは引き続き支援を担当します。企業招致、面談内容で一層の満足をいただけますように改善を図っていききたいと思います。



## 23. 《尼崎地域産業活性化機構（AIR）》

### 1. あまがさき産業フェア2024

2023年度までは、毎年7月の開催でしたが、2024年度は、暑さ対策で来場しやすい秋口に変更されました。尼崎市だけでなく兵庫県、大阪府内からも出展者、来場者があり活況に終了しました。

（開催日）11月21日（木）～11月22日（金）

（場所）ベイコム総合体育館（尼崎市記念公園）

(出展者数) 164社・団体

キャッチフレーズは、「会いたくなる技術がいっぱい尼崎」。NPOクラブは、ビジネスマッチング事業の出展者・大手企業とのビジネスマッチング会を受託し実施しました。

#### (1) 商談会への企業招致業務および出展者とのマッチング

当NPOクラブが招致した大手企業は12社で、マッチング企業数は40社でした。NPOクラブ会員（コーディネーター）の報告によると、具体的に見積依頼をした企業が7件、両社が商談を継続するとの回答が26件、情報交換のみで継続が望めないものが7件との結果で、82.5%が商談に前向きで継続姿勢を示されています。

商談の場では、短時間の面談にもかかわらず、具体的に見積もり依頼の案件もあり、取引に繋がったとの意見を多数いただき、今後につながる有意義なものであったと思います。

#### (2) その他：相談コーナーでの対応

来場者：24社・団体／27名

情報交換が16社、出展企業訪問が4社、販路先紹介依頼が4社ありました。

結果、1社は当NPOクラブと一般支援契約にて支援中です。

### 2. あまがさき産業フェア2025

2025年度は、11月20日(木)～21日(金)ベイコム総合体育館にて開催されます。



## 24. ≪近畿高エネルギー加工技術研究所（AMP I）≫

AMP I（（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所）は、兵庫県阪神南（尼崎市、西宮市、芦屋市で構成）県民センターがAMP Iを通じて3市の中小企業を支援するもので、技術的な支援はAMP Iが担当し、販路拡大については経営支援NPOクラブ関西が担っています。

AMP Iが選定した技術的に特色のある約200社をLT (Leading Technology) 企業として選定し、その中から販路拡大を希望する企業（今年度は14社）の支援を行いました。

1社平均2件の販路開拓先を紹介する事を目標に進め、最終的に、2月までにマッチング面談が出来た件数は19件で、目標の68%となりました。

独自の技術でユニークな企業が多い反面、経営規模が小さい所もあり、機動的な活動が難しい事などが有って目標の件数には達しませんでした。AMP Iからは、紹介した企業などについて好評価を得ました。

2025年度も継続が見込まれています。



AMPIとNPOチームによる第1回目全体会議

## 25. 《しまね産業振興財団・ものづくり企業交流会》

2023年度にしまね産業振興財団（以下、しまね財団）からの委託を受け、島根県ものづくり企業が参加する大都市圏での交流会（商談会）においてビジネスマッチング支援活動を行いました。初年度（2023年度）の東京・大阪での交流会に続き、2024年度は9月に名古屋、2025年3月に大阪で交流会が開催されました。

しまね財団とNPOクラブが連携しながら、それぞれの交流会に向けて東海圏及び関西圏の企業招致を中心とする、島根県ものづくり企業のビジネスマッチング支援活動を下記の通り行いました。

### (1) しまねものづくり企業交流会 in 東海

- ・ 2024年9月12日 於：TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
- ・ 島根県企業（参加12社）のPRプレゼンに続いて招致企業との個別商談実施
- ・ 全招致企業16社（NPOクラブ招致7社、しまね財団招致企業9社）
- ・ 合計商談数50商談（NPOクラブ関連21商談、しまね財団関連29商談）
- ・ 会場には、50人ほどの参加者があり、盛況でした。

### (2) しまねものづくり企業交流会 in 関西

- ・ 2025年3月13日 於：TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前AXビル
- ・ 商談会に招致した企業17社（NPOクラブ招致企業11社、しまね財団招致企業6社）
- ・ 島根県企業のPRプレゼンに続いて個別面談を招致企業17社に対して合計52商談（NPO関連31商談、しまね財団関連21商談）を実施しました。
- ・ 会場には60人を超える参加者があり、熱気のある商談会でした。

島根県公的機関からの事業受託は昨年に続いて2年目ですが、しまね財団のビジネス展開支援と商談会開催に向けたきめ細かい準備・運営により、内容の濃いビジネスマッチング支援活動を実施できました。



東海での企業プレゼン(左)と個別面談(右)



関西での企業プレゼン(左)と個別面談(右)

## 26. 《島根グリーンビジネス戦略構築》

2023年10月、(株)地域計画研究所(通称アルパック)を介して、「島根県グリーンビジネスフォーラム」の名のもとに、木材由来の化学物質の製品化を目指す研究開発企業など県下の環境ビジネスに取り組む企業を対象に、技術・製品のブラッシュアップと販路開拓支援活動を開始しました。

2024年も2月に当該フォーラム参加企業8社の技術・製品について、それぞれNPOクラブ会員数名でオンラインヒアリングを行い、競争力強化・訴求力強化のアドバイスとマッチング先探索協議を行い、4月以降10件のマッチングを実施しました。

2025年も継続して支援要請があり、2月から3月にかけて6社の企業ヒアリングを行い、販路開拓のための課題整理と訴求点強化などのアドバイスを行いました。具体的なマッチング活動は2025年4月以降に行う予定です。

### 《 研究開発2事例 》



## 27. 《かがわ産業支援財団》

2024年度も香川県の公益財団法人である「かがわ産業支援財団」(以下「財団」)から6年目となる支援業務を受託しました。本業務は「香川県内企業と県外大手企業との商談機会の創出を効果的に行うことにより、県内企業の持続的な発展と成長を支援すること」を目的としており、受託内容は次の3業務です。

### 1. 県外大手企業の具体的な発注案件の探索及び紹介

14件の具体的な見積り案件を探索・紹介し、発注に至った案件もありました。

### 2. 県内企業への発注につながる県外大手企業窓口の紹介や商談機会の創出

東京や福岡で開催される展示会(機械要素技術展、国際二次電池展など)の香川県ブースに大手企業を招致しての面談や大手企業が関心のある香川県企業とのマッチングなど合わせて36件行いました。

### 3. 県外大手企業で開催する展示商談会の支援

3件の支援を実施、1月23、24日には川崎重工業(株)明石工場で展示商談会が開催され、21の香川県企業団体が出展しました。川崎重工業の多くの社員がブースを訪れ盛会でした。

以上3業務合わせて52件の期待値に対し53件の成果を達成することができました。



機械要素技術展  
(6/19-21,東京ビッグサイト)



九州機械要素技術展  
(12/11-13,マリンメッセ福岡)



展示商談会 in 川崎重工業  
(パンフレット)

## 28. 《高知県産業振興センター》

今期、初めて高知県産業振興センターより下記案件を受託しました。「技術の外商カタログ」から選定された、県外への市場拡大を指向するものづくり企業14社に対して、商談機会（マッチング）創出を支援する内容でした。

活動の開始に当たり、5月に2名ずつ5チームを編成して高知県の各企業を訪問し、各支援企業の社長との面談及び工場の見学を実施しました。この企業訪問で各企業の理解を深められたことにより、後の支援活動の参考になりました。

9月には大阪市内で商談会が開催され、支援対象企業の殆どが参加されました。NPOクラブは、ここに発注側企業9社を招致し、合計26件の商談が行われました。

期間を通してのマッチング面談は41件、見積りを提示した企業が8社で、内1社は受注まで至りました。

次年度も継続して受託する見込みで、今年度以上の成果が期待されています。



## 29. 《四国STEPヘルシー四国》

2024年4月度に一般財団法人四国産業・技術振興センター（STEP）と同法人が運営している「ヘルシー四国」<https://www.healthy-shikoku.jp/>掲載の5社／年程度の販路拡大個別マッチングの実施を契約しました。NPOクラブの一般支援委託契約をベースとした2年契約とし、今年度は以下5社を支援しました。それぞれ右側に支援企業との初回面談と紹介したマッチング面談社数を表示します。

- (1) 室戸海洋深層水（株）：「にがり」（味噌等の発酵促進効果を訴求）  
初回面談1回 マッチング面談2社
- (2) (株) 高橋石油きくらげハウス：さめきくらげパウダーなど乾燥きくらげ  
初回面談1回 マッチング面談8社
- (3) (株) マルハ物産：ビーツパウダー、レンコンパウダー、水煮大豆ミート  
初回面談1回 マッチング面談7社

(4) 秀長水産(株):「カルペイン」(真鯛骨成分の食品素材)

初回面談1回 マッチング面談0社

(5) カミ商事(株):「アモルセル」CNF(セルロースナノファイバー)

初回面談1回 マッチング面談0社

以上、本年度は各支援企業との初回面談を含めて合計22回(目標20回)の支援を実施して完了しました。2025年度も支援回数の少なかった(1)室戸海洋深層水、(4)秀長水産、(5)カミ商事に加えて新たな企業を数社加えて支援を継続する予定です。

資料1: 室戸海洋深層水(株): にがり

<https://www.healthy-shikoku.jp/coms/product/1050/1>



資料3 (株)マルハ物産 ビーツパウダー

<https://www.healthy-shikoku.jp/coms/product/1036/2>



資料2: (株)高橋石油き 乾燥きくらげ

<https://www.healthy-shikoku.jp/coms/view/1037>



### 30. 《STEP2: 一般財団法人 四国産業・技術振興センター》

テーマは昨年度の「知財マッチング」から「フードテック技術マッチング事業」に変更、食品系企業の支援をすることとなりました。STEPからは以下5社の支援を依頼され、目標15面談以上(最低1社1面談)に対して合計25面談を実施しました。

(1) 愛媛県 伊方サービス(株):

支援商品:「搾汁後の果皮から製造された機能性成分を含むみかんパウダー等」

結果概要: 柑橘類のβクリプトキサンチンの機能性・優位性は広く認識されていますが、一方ではかなり普及しており魅力が薄れているなかで、フリーズドライ製法は香りや色がエアードライよりも残っており関心がもたれました。

(2) 香川県 大倉工業(株):

支援商品:「加圧熱水の加水分解作用で低分子化されるエキス抽出」

結果概要: 加圧熱水抽出技術への関心が高く、バイヤー企業の原料の抽出をしてみたい要望が多い結果となりました。同技術の量産レベルの装置を保有している企業が少ないのがその理由とのことでした。

(3) 愛媛県 仙味エキス(株):

支援商品:「蛋白質を酵素分解したペプチドから製造する調味料」

結果概要: 蛋白質の酵素分解により素材の旨味を活かすペプチドエキスを抽出している強み

があるものの、すでにならかなり多くの企業と取引していることもあり、マッチング先の開拓に難航しました。結果として2社の紹介にとどまりました。

#### (4) 香川県

支援商品：ハイスキー食品工業（株）：「こんにやく特有の臭いを除去したマンナンミール」

結果概要：こんにやく特有の匂い、えぐみを除去する技術、細かく分散する技術に多くの関心をもたれました。各種の食品に多い比率で混ぜることができることから、健康食品に利用できる可能性を述べたユーザーが多い結果となりました。

#### (5) 高知県 (株) PlastiFarm :

支援商品：「納豆由来のPGAICによる食品の鮮度保持機能」

結果概要：紹介した企業は「JAにじ」1社ではありましたが、生鮮食品の鮮度維持技術に加えてその安全性、作業の簡便性には高い関心が寄せられました。訪問実施した「いちごの鮮度維持」を対象としたテストでの効果が認められたとの報告が「JAにじ」よりありました。今後の展開が期待できます。

#### 活動写真 資料1：伊方サービス㈱の製品



#### 活動写真 資料2：ハイスキー食品工業の製品



#### 活動写真 資料3 (株) PlastiFarmの鮮度保持シート



### 3 1. 《モクコレ》

「モクコレJAPAN ReWOOD 2024」は東京ビッグサイト西1-2ホールで開催されました。展示会場では関係者が一団となり、NPOクラブの支援業務も順調に実施できました。

主 催：東京都産業労働局農林水産部（ただしNPOクラブは（株）博展より受託）

日 時：２０２４年８月１７日（土）８月１８日（日）

会 場：東京ビッグサイト西１－２ホール（１０：００－１８：００、最終日１７：００まで）

主な支援業務はコンシェルジュ活動業務及び、バイヤー企業招致による出展者ブース訪問の商談会実施業務の二つですが、２日間の来訪者数は７０００名に達しました。

コンシェルジュへの相談件数も２日間合計２５件、中でもマッチング相談及びブース訪問が２日間合計１５件、と商談目的の来訪者もありました。

特別商談会への企業招致数は１８社を達成、商談数は１００商談を実施出来ました。１００商談中の９６商談で、今後も商談を継続することとなりました。これらの業務に関して、会員が各々報告書を作成しています。



## ３２．《産業交流展》

産業交流展２０２４のマッチング支援業務を、（株）サンコミュニケーションズ経由で、東京都より受託しました。業務内容としては、マッチングコンシェルジュ業務、特別商談会への企業招致、マッチング事務局が調整した商談スケジュールに基づいてリアル（商談会場、ブース訪問での商談を含む）およびオンライン商談のアテンド業務、出展者向けのオンライン事前相談会、ブース診断を実施しました。

主催：東京都、東京都中小企業団体中央会 等

（ただしＮＰＯクラブは（株）サンコミュニケーションズより受託）

日時：２０２４年１１月２０日（水）～１１月２２日（金） 東京ビックサイト西館

オンライン２０２４年１１月６日（水）～１１月２９日（金）

特別商談会への企業招致数は５５社を達成、商談数はリアル、オンライン合わせ２０５商談を実施しました。そのうち１８５商談で、今後も継続すべく、相互に企業を訪問するなどの具体的なアクションが確認され大成功の商談会となりました。

バイヤーとして招致した企業の商談には招致を担当したＮＰＯクラブメンバーが同席し、実のある商談になるようにサポートしました。コンシェルジュ業務、商談会実施業務の各報告書を作成し支援業務を完了しました。



### 3 3. 《新価値創造展》

新価値創造展2024（2024年11月13日～15日）の支援業務を、（株）TSP太陽から受託しました。EXPO2025を来年に控え、展示会への来場者の増加も期待される中、「新価値創造展2024」は未来モノづくり国際EXPO2024の一部の展示会としてインテックス大阪で開催されました。主な支援業務は、出展者の個別審査によるスクリーニング業務、コンシェルジュ活動業務及び、バイヤー企業招致による出展者ブース訪問の商談会実施業務の三つです。

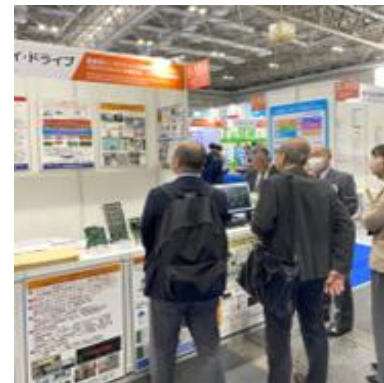
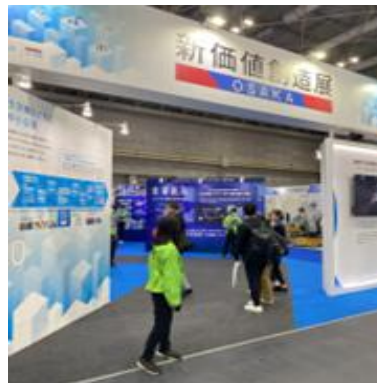
主 催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

（ただしNPOクラブは（株）TSP太陽より受託）

日 時：2024年11月13日（水）～11月15日（金）

会 場：インテックス大阪 2ホール（10：00～18：00、最終日17：00まで）

特別商談会への企業招致数は15社を達成、商談数はリアル、オンライン合わせ67商談を実施出来ました。そのうちの62商談で、今後も商談を継続すべく、相互に企業を訪問するなどの具体的なアクションが確認され大成功の商談会となりました。バイヤーとして招致した企業の商談には招致を担当したNPOクラブメンバーが同席し、実のある商談になるようにサポートしました。コンシェルジュ業務、商談会実施業務の各報告書を作成し支援業務を完了しました。



### 3 4. 《組合まつり》

「組合まつり in Tokyo 2024」の支援業務を、（株）日広通信社から（株）サンコミュニケーションズ経由で受託しました。経済活動が活発化し、展示会への来場者の増加も期待される中、「組合まつり in Tokyo 2024」が、東京国際フォーラムホールEで開催されました。

主 催：東京都、東京都中小企業団体中央会等

（ただし、NPOクラブは（株）サンコミュニケーションズより受託）

日 時：2024年10月30日（水）～10月31日（木）

会 場：東京国際フォーラムホールE 10：00～19：00（19日は17時まで）

主な支援業務は、①コンシェルジュ活動業務、②バイヤー企業招致による出展者ブースでの商談会実施です。NPOクラブ会員が各々、支援業務を順調に実施出来ました。

来訪者数は大きく増加しました。コンシェルジュへの相談件数も2日間で合計44件あり、中でもマッチング相談及びブース訪問が2日間で合計6件となり、商談目的の来訪者もありました。特別商談会への企業招致数は14社を達成、商談数は80件を実施出来ました。そのうち74件で、今後も商談を継続することとなりました。

当NPOクラブは微力ながらも、本展示会の目的である、中小企業への支援を果たすことができました。引き続き中小企業の力となれるように努めたいと思います。



### 35. ≪日本食糧新聞社≫

名称：2024 しんくみ食のビジネスマッチング展「食の商談会」  
主催：全国信用協同組合連合会・(一社) 全国信用組合中央協会・  
(一社) 東京都信用組合協会

日時：オンライン個別商談 11月11日(月)～15日(金)

昨年度に引き続き(株)日本食糧新聞社から受託した案件です。信用組合の取引先企業の出展は昨年の152社から72社と半減しました。

このため、当NPOクラブのバイヤー招致数は昨年実績24社に対し、10社、面談数は昨年実績83回に対し、56回と昨年を大きく下回りました。全体の数は減少したものの、取引の可能性のある面談は39回あり、前向きな商談が進められました。

## ＜経営支援NPOクラブ内のグループの活動報告＞

### 36. ≪Aグループ≫(農林水産、食品他)

#### Aグループ年間マッチング活動実績

合計 支援企業数41社、マッチング回数265回(展示会訪問は含まず)

| 案件名          | 支援企業数 | マッチング回数 | 備考      |
|--------------|-------|---------|---------|
| STEPヘルシー四国   | 4社    | 10回     | 機能性表示食品 |
| STEPフード技術テック | 5社    | 29回     | 食品保存新技術 |
| みやぎ産業振興機構    | 9社    | 86回     | 水産商品特徴  |
| 埼玉県庁         | 4社    | 8回      | 地域新品種注目 |
| 福島イノベ推進機構    | 1社    | 3回      | 陸上養殖エビ  |
| 鹿沼商工会        | 2社    | 4回      | 地元ワイン   |
| 気仙沼          | 3社    | 6回      | 海藻類健康食品 |
| PwC農水案件      | 4社    | 11回     | 脱炭素環境対策 |
| 大阪ビジネスフェア    | 6社    | 27回     | 地域食材紹介  |
| 日本食糧新聞社      | 14社   | 72回     | 〃       |
| 特定・一般支援契約先   | 5社    | 11回     | 大手小売開拓  |

- (1) 2024年度は、103名の体制で、定例会12回、毎月50～60名参加で開催しました。(累計総数約700名)
- (2) 地域案件では、みやぎ産業振興機構から昨年(4社)であったが大幅増の9社の支援を獲得しました。印象的であったのは、水産会社のマッチングが多くなされ、食の時短と美味しさ・健康が同居する商品にマッチング企業が集中することでありました。
- (3) 機能性表示食品に対する関心度も高く示され、STEP案件については、大手食品会社とのマッチングが実現できたこと、農産物保存の新技术を実地でテストし、イチゴで実証できたことが評価されます。
- (4) 地域の食材を大切に作る中小企業への支援では、埼玉案件で、県産いちご「あまりん」をマッチングした。「あまりん」は糖度が高く、酸味が少ない苺として、人気が出ており、貴重な商品となっています。
- (5) 長年支援している一般支援契約先が特定支援会員になっていただいたこと、またその支援商材が大手SM企業に導入できたことは、健康ニーズを掘り起こせた実績として高く評価したいと思います。



焼き魚が簡単に食せる



イチゴの保存テスト



おにぎり健康米

### 37. 《Bグループ》(化学、素材、環境)

Bグループは、化学、素材、環境分野等関係する98名のメンバーにて中小企業等の支援を行っています。毎月第3水曜日に定例会議の開催を行い、各地域案件チームの担当者からの個別連絡等を通し、案件毎の担当者の選任を行い、中小企業の販路開拓支援、商品開発改良助言等による支援活動を推進しています。地域案件の中では、特に東京都、東京都中小企業連合会が主催する産業交流展、金融機関／足利銀行の商談会、めぶきものづくり企業フォーラム等々での多数のマッチング先の開拓に寄与しました。

それらの結果、グループメンバーの協力の下、地域案件で138回の支援、特定支援契約会員・一般支援契約企業10社に対して28回の支援を実施することができました。また、環境事業支援研究会及び新素材研究会、他グループとの連携を図り、今後更に中小企業への支援活動の強化を進めてまいります。

### 38《Cグループ》(機械、電機)

Cグループは、機械及び電機関係のメンバー約120名からなり、中小企業支援活動を行っています。毎月のリーダー会議では、グループの懸案及び課題事項を討議し、毎月第4金曜日に開催する定例会では課題の共有化を図っています。

また、半導体、ロボット・試作開発、生産現場改善・DX等の業界動向をグループ内で勉強会

を開催し、検討した情報の共有化を推進しています。

地域案件は、マッチング支援活動の実施だけでなく、現場改善や開発促進等の伴走支援活動案件もあり、支援に際しては、全国の産業支援機関及び地域案件実行チームと連携し、各分野の専門家からなるチームを編成し複眼的な視点での活動を実施しています。

特定・一般支援企業は、27社を担当し夫々のリーダーを中心に支援活動を行っています。販路開拓・マッチングに加え、マーケティング、新技術動向セミナー、現場改善・競争力強化支援など、活動体制もそれに合わせた伴走型等への対応の強化を図っています。

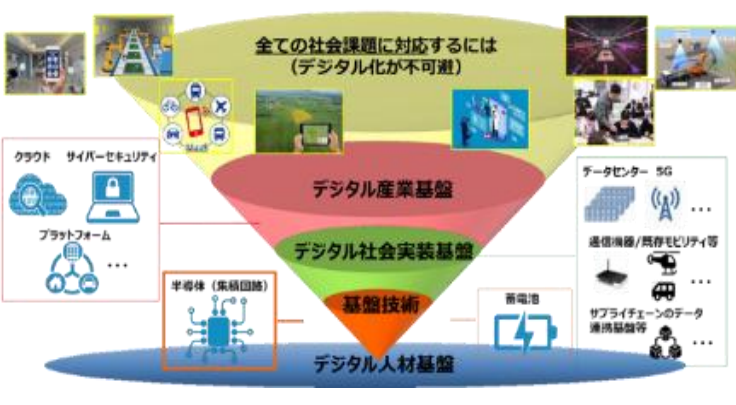
(ロボットへの期待)

我が国が直面する社会課題とロボットへの期待

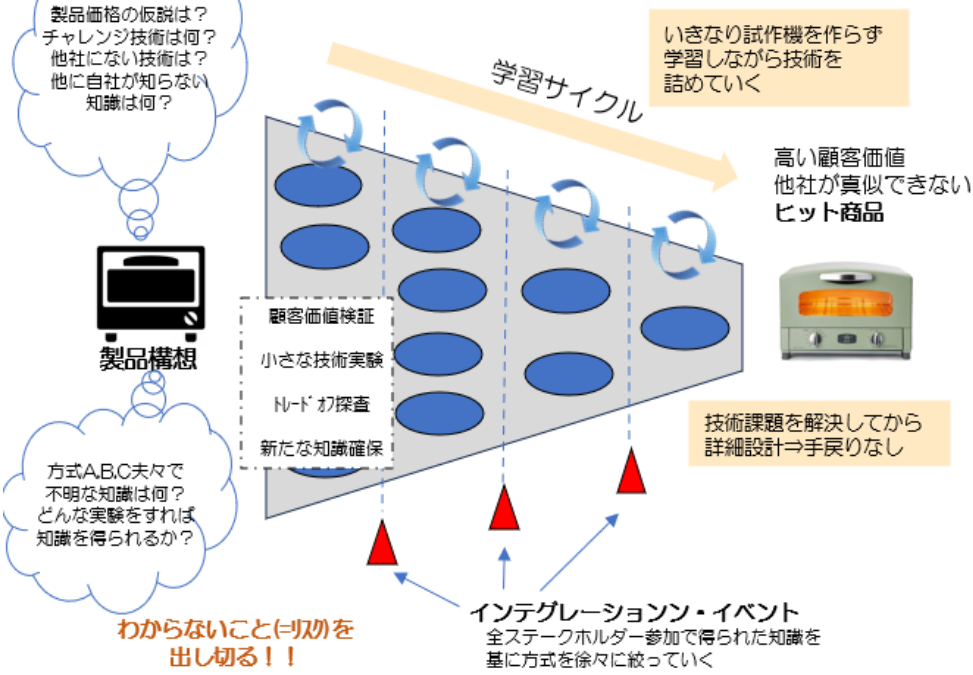
- 人手不足がそのまま加速すると、ものづくりが停滞するだけでなく、エッセンシャルワーカーが不足することにより日常生活を維持することすら困難になることが予想される。
- そうした状況下で、我が国が持続可能な社会を作るためには、様々な産業分野でロボットを効果的に活用して、労働生産性を高めていくことも必要。



社会課題へはデジタル化不可避



(セットベース開発)



39. 《ヘルスケアグループ》(医療・介護)

2024年度は、経済産業省の『中堅・中核企業のプラットフォーム構築による新事業展開支援』(項目2参照)という大型案件を受託し、このテーマが「ヘルスケア分野」であったことから、当ヘルスケアグループでは、多くのメンバーが関与し主体的に取り組みました。従来の中小企業のみならず、支援対象が中堅・中核企業にまで拡大されたことで、当グループの支援方法や知

見・技術が進歩したことは確実です。

近年、超高齢化社会が続く中で、健康長寿社会の形成に向けて、ヘルスケア分野に関する技術革新が重要になってきています。特に、自動車業界等の異分野業種から、従来技術を生かして、ヘルスケア分野へ進出したいとの希望も多くなってきました。

このような世の中のニーズに応えるべく、ヘルスケアグループとしては、経験・知見・人的ネットワークの豊富な人員を増強して活動しています。支援への要望に対しては、参入から販路拡大まで多面的な対応が強化された布陣となっています。具体的には、ヘルスケアグループ約76名のメンバーの人脈を活用した企業招致活動、支援企業訪問（オンライン面談を含む）や販路先企業とのマッチング、大学や公的機関を含む連携支援機関とのマッチングを積極的に実施しています。

昨年度の経産省案件以外の主な支援実績としては、三重県より受託した「医療・福祉機器等の製品化支援」と、秋田県より受託した「医療機器サプライチェーン再構築チャレンジ事業」があります。これらの事業目標に対して、個別企業との相談会、支援企業訪問、マッチング面談等を実施し、事業目標を達成することができました。展示会やオンライン商談等の支援で、300件に及ぶヘルスケア関連企業を招致しました。

更に、メンバーによるマッチング情報の共有化や、グループメンバーへの各種外部機関からの積極的な情報収集に努めメンバーの研鑽を実施しています。



#### 40. 《Eグループ》(ICT、その他)

2024年度のEグループは、7年ぶりのグループリーダーの交代があり、新たな体制でスタートしました

Eグループは、食品関係、化学関係、ものづくり関係、ヘルスケア関係以外の多種多様なジャンルを担当し約127名の多彩な企業の出身の方々にご参加いただき、案件実行チームが獲得した仕事に対して、依頼者の満足度を上げていくよう努めています。



毎月の定例会は「企業プレゼン」を実施し、参加者に「新しい引出（新製品、新サービス）」を情報提供し毎月の定例会を楽しみにしていただけるよう企画しています。

また定例会終了後の「懇親会」も自由闊達な交流ができるよう多くの方にご参加いただいています



## 4 1. 《関西グループ》

関西グループは、2024年5月に発足10周年という大きな節目を迎え、5月16日に記念講演と祝賀懇親会を開催いたしました。

第一部は大阪府松原市の田口一江副市長に講演いただき、出席の企業の皆様や会員を引き付ける貴重なお話と語り口で盛り上げていただきました。

第二部ではご来賓の皆様より心温まる祝辞をいただき、また、出席の皆様には相互に親交を深めていただき、盛況のうちに終了いたしました。

グループメンバーも、発足当初の5名から48名（関東他遠隔地在住8名＋関西在住40名）となり、今後の活動について、改めて考える良い機会となりました。まずは次なる10年に向け新たなスタートを切りました。

日常の活動としては、毎月最低1回の定例連絡会議を開催し、その中で特定支援会員・一般支援企業からのプレゼンテーションや活動報告、確認等を行っています。

また、本年度は7法人からの委託（事業内容詳細は別掲）を受け、関西以西地域で全分野の企業に対し、マッチング実現に向け活動を展開してきました。

社会経済が大きく変化する中、中小企業を巡る環境も急速に変化を遂げつつあり、NPOクラブに対する支援ニーズも変化していきます。その変化に柔軟に取り組み、常に中小企業の期待に応えられる関西グループでありたいと願っています。



10周年記念祝賀会(2024/05/16)



定例会議での企業プレゼン



定例会議後の懇親会

## 4 2. 《次世代育成支援グループ》

中小企業支援と平行して、多種多様な会員の経験と人脈を活かした次世代育成支援活動を継続しています。

高崎経済大・附属高校コラボゼミの6社企業訪問への支援活動を継続して実施しました。また、今期は高崎経済大学大教室での成果発表会を、初めてオンラインでNPOクラブ会員向けに配信しました。大妻女子短期大学インターンシップ先5社の一つとしてNPOクラブでも6名の学生を受け入れました。

サイエンスアゴラは「『食と科学』の新たな未来」をテーマに、4名の会員がゼミセミナー形式で講演しました。埼玉県立川越女子高等学校で「人権」について、学生のキャリア形成支援として東京聖栄大学、東京未来大学、高崎経済大附属高校リレー講話での講演、駒澤大学で「ビジネス探求塾」の講義を3回（2025年度は6回実施予定）、荒川区の図書館ゆいの森では小学生対象に「空気の圧力」のワークショップを実施しました。

また、会員の自己啓発の場としてNPOサロンを3回開催。来期は中小企業向けの講演等の実施に向けて準備を進めています。



活動写真(1)：高崎経済大・附属高校コラボゼミ



活動写真(2)：サイエンスアゴラ

## ＜研究会・タスクチームの活動報告＞

### 4 3. 《新素材研究会》

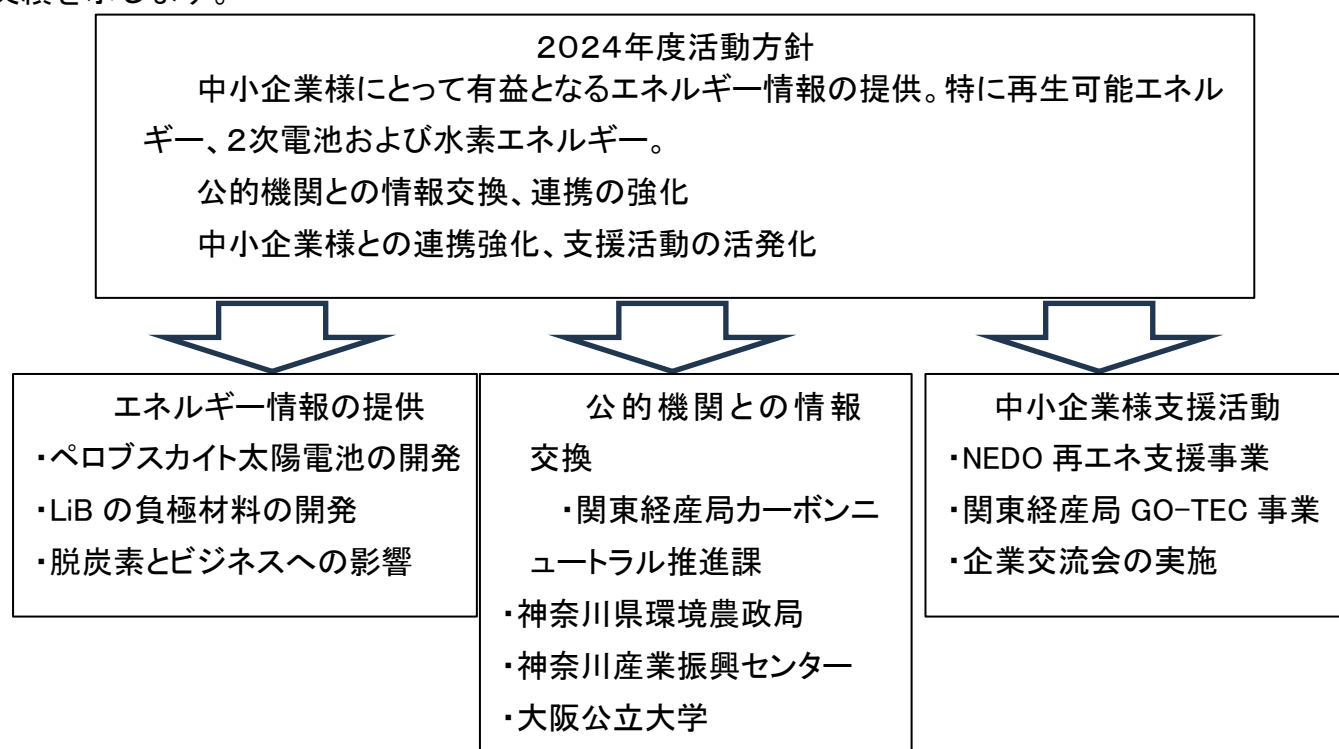
新素材研究会は、2024年度は12人のメンバーで、毎月「新素材・新技術」に関する情報を互いに発表し、論議をしています。今年度は、9回のテーマ発表会で、19案件の発表がありました。

発表内容は、展示会での技術紹介、メディア発表の材料調査、文献などから取り上げたトピックスでした。対象材料は、金属・鉱物、カーボンナノチューブ、プラスチック関連等で、目的別としては、車関係、CO<sub>2</sub>対策、環境関係などが多くを占める内容でした。

今年度は、会員が調べた材料に関する貴重な情報を、広く共有できる方法を考え、材料の分類とその用途・素材メーカー・代表製品・特徴などをまとめてみました。今後は、ポータルサイトから、より皆さんに見ていただけるように継続して改善を図っていきたいと思っています。

### 4 4. 《エネルギー産業研究会》

エネルギー産業研究会は、2024年度、次の3項目を活動方針として掲げました。その活動実績を示します。



## 2024年度の特徴

メンバーによる討論会の活発化を図りました。テーマは次の二つです。

- ・テーマ1. カーボンニュートラルに関する意識調査
- ・テーマ2. 水素関連の動向に関する討議

広範囲なテーマを自由に討議する場を設けたことは、活動の活性化に効果があったことと思いますので、来年度以降も継続して行くことにしたいと考えています。

## 45. 《中小企業経営強化支援チーム》

### (1) 独自の事業強化伴走型支援モデルを確立

これまで中小企業約100社に対し、事業強化支援を実施しました。経験から得た経営ノウハウおよび論理的分析手法を用い、独自に考案した「実践的価値創出手法」と「重層的支援」を基軸にした『事業強化伴走型支援モデル』を確立しました。(図1)。

初期面談から事業計画書作成、さらに実行計画伴走支援します。社長面談・社長の意図・工場見学で情報収集・現状分析から、ビジネスの在り様を俯瞰的できるよう改変ビジネスモデルキャンバスを作成します。次にイノベーションを織り込み、課題解決を具体化した事業計画書作成に取り組みます。

さらに実行計画は、毎月PDCAを回して目標を達成します。

伴走担当者は複数で、加えてサポート専門家らと評価検討会議で英知を結集し、内容を多面的に深化させます。

### (2) 強いビジネスモデルの構築をお手伝いします

中小企業社長が常にビジネスモデルを創造・改良し続けるのを伴走支援します。強いビジネスモデルの要件は、「戦略性」、「需要性」、「先行者優位性」、「競争優位性」、「経済性」の5項です(図2)。戦略性は、例えば、当該企業にとって「第2の柱を育成等にする」などの基本方針を決めます。

事業機会の特定ができた後は、市場規模はどの程度か把握し、独自性、新規性で先行者優位性の機会を掴み、製品の強みを発揮して、競合他社との位置関係を考え、利益と競争力の確保が出来る市場ポジショニングを決めます。さらに経済性を確認して事業化を決定します。

またシニア人材を活用するなどして、強いビジネスモデルの構築を図るとともに、スキルの習得とOJTによる人材育成を推進できます。

図1. 事業強化伴走型支援モデルの確立

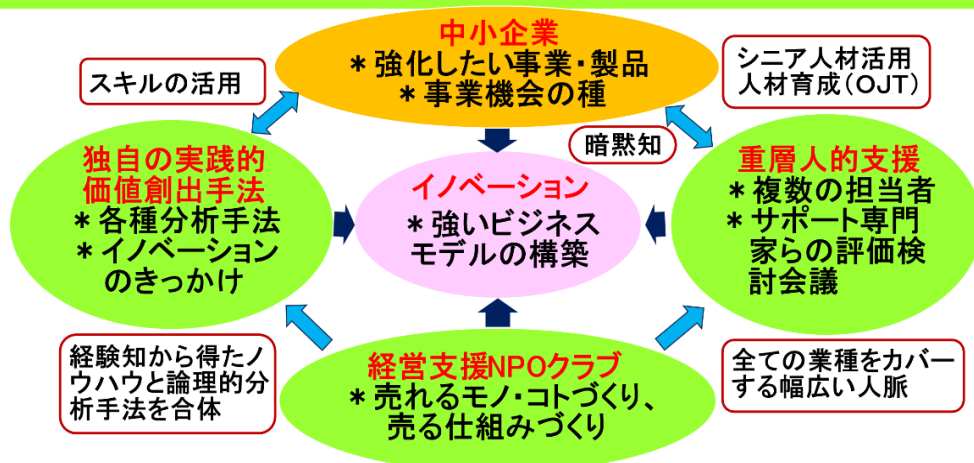
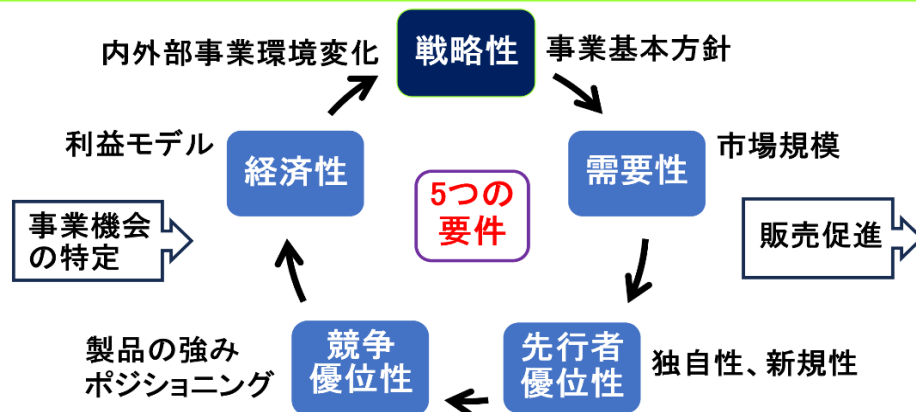


図2. 強いビジネスモデルの構築のために

HK作



#### 4 6. 《環境事業支援研究会》

- (1) 特定支援会員50社の現在の環境事業並びに環境対策を研究会メンバーで手分けをして確認し、環境メモを纏めました。上記50社の中から、今期は3社の環境事業プレゼンを実施しました。
- (2) 今後の環境に関係するISO対応等のニーズに対応すべく、NPO内の環境関連に対応できる人材の洗い出しを行いました。NPO会員（入会4年以内）の中から、9名を選び、研究会で自分の経歴・得意な分野等のプレゼンをしてもらう事とし、今期は3名のプレゼンを実施しました。
- (3) 環境関連セミナー等に参加して、研究会で共有しました（環境セミナー）・書籍「環境とビジネス」・ポリスチレンリサイクルセミナー・サステナブルマテリアル展（幕張メッセ）・SBT認定について・環境サロン・環境ビジネスフォーラム（・RE-100の紹介（A社の温暖化対策）・産業交流展（A社の紹介等））
- (4) 2回の見学会（川崎市・清瀬市）を行いました。企業支援を行うためには環境問題の本質や法規制の正しい理解が必要であり、引き続き環境ビジネスについての知見を深めると共に、具体的な企業支援策を議論し、それを実施していきます。



#### 4 7. 《デジタル・イノベーション支援チーム》

「デジタル・イノベーション支援チーム」は、デジタル技術を活用し、経営力を強化したい、課題を解決したいと考えている中小企業、特に小規模企業の経営者を支援する方針で活動しています。

2021年～2022年は、「意向調査」活動を通じデジタル化の相談を戴いた企業を中心に、ヒアリング・現地調査から実情に沿った提案をしました。2023年は一歩踏み込み、デジタル化による気づきや、課題や環境などについてヒアリング及び提案を行いました。

2024年度は、2022年11月公開ChatGPTに代表される生成AIの急速な成長、開発ツール（ノーコード・ローコード等）の発展があり、デジタル化は身近なツールとなってきました。このような背景から、課題解決手段として、ベンダー紹介の仕組みを構築しました。本年度は3件のベンダー登録をしました。2025年以降順次拡充していきます。

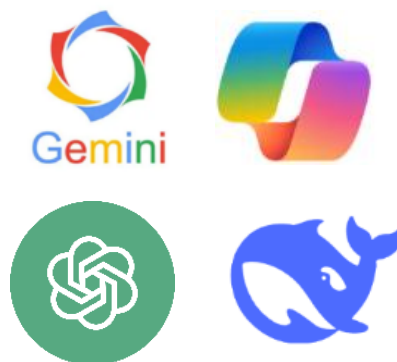
会員のデジタル化支援力向上を目的で開始した「デジタルリテラシー講座」は、生成AI基礎知識や「今日から皆さんも使い手になろう」を実施しました。

経営課題のご相談だけでなく、現在デジタル化を検討されていない企業の皆様もお気軽にご相談下さい。



### ChatGPTに聞いてみました。何ができるか？

| 1. テキスト生成                                                                                                                                                                                                                                                | 2. 画像・動画生成                                                                                                                                                                                                           | 3. プログラミング                                                                                                                                                                                                         | 4. 調査 & 学習支援                                                                                                                                                    | 5. ビジネス & マーケティング                                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文章の自動生成（小説、詩、エッセイ、記事）<br>メールやビジネス文書の作成<br>SNSの投稿作成（Twitter、Instagram、Facebookなど）<br>キャッチコピーやスローガンの作成<br>会話のシナリオ作成（対話システム、ゲームのストーリー）<br>チャットボットの応答設計<br>論文やレポートの下書き作成<br>プレゼン資料の内容作成<br>法律文書のドラフト作成<br>コーディング用のコメント生成<br>脚本やシナリオの作成<br>インタビュー記事や対話形式の記事作成 | AIによる画像生成（イラスト、写真、ロゴ）<br>AIアバターやキャラクターの作成<br>写真の編集（補正、色調調整、背景削除）<br>ディープフェイク技術を使った画像変換<br>3Dモデリングのテクスチャ生成<br>マンガやアートのスタイル変換（例：手描き→デジタル）<br>動画の自動生成（スライドショー、アニメーション）<br>GIFやショート動画の生成<br>画像内の不要なオブジェクト除去<br>古い写真のカラー化 | コードの自動生成（Python、JavaScript、C++など）<br>バグの検出と修正提案<br>コードの最適化（高速化や簡潔化）<br>API仕様の自動ドキュメント化<br>SQLクエリの生成 & 最適化<br>アルゴリズムの解説 & 実装支援<br>テストコードの生成<br>コードコメントの自動作成<br>Webサイトのデザイン提案（HTML/CSS/Javascript）<br>ソフトウェア設計のアドバイス | 質問応答（辞書のようない方）<br>科学論文の要約 & 解説<br>調査レポートの作成<br>書籍や映画のレビュー要約<br>歴史や地理の事実確認<br>数学の問題解決 & 解説<br>プログラミングの学習支援<br>語学学習のサポート（例文、単語帳の作成）<br>試験対策問題の作成（TOEIC、英検、数学検定など） | 顧客対応の自動化（チャットボット、FAQ）<br>ビジネスメールの作成<br>商品説明文の自動作成<br>SEO対策用コンテンツ作成<br>ユーザーレビューの分析<br>SNS投稿の最適化<br>競合分析（市場データ収集 & 分析）<br>広告コピーの作成<br>プレゼン資料の作成 |



出所：第三回デジタルリテラシー講座

## 48. 《自然大災害復興支援プロジェクト》

### （1）福島県元気アップ土湯の復興事業状況（2024年6月、7月訪問）

- ・バイナリー発電と小水力は、大きなトラブルなく順調に稼働していました。
- ・オニテナガエビの養殖事業は、順調で観光集客に寄与しているとのことでした。
- ・「株元気アップつちゆ本社」の近くに作ったコミュニティカフェ「おららのコミセ」の釣り堀は盛況でした。
- ・当NPOクラブが販売支援を実施した「どぶろく醸造」については継続しているものの売上は伸びていないとのことでした。
- ・7月、NPOクラブ会員専門家を入れ「土湯温泉さらなる魅力度アップによる誘客を図る支援の可能性」を打ち合わせしました。

### （2）宮城県赤坂農園の支援状況

- ・赤坂農園の綿花事業を、昨年度から東北大震災被害の復興事業として支援、綿花定植作業（5月）に続き、収穫作業に参加しました。近くに道の駅がオープンし、綿花製品を販売していました。
- ・2025年1月、宮城県のアンテナショップが、日本橋茅場町に新たにオープンしました。

店舗の開設にあたってNPOクラブでは、「クラウドファンディング」支援を会員に呼びかけました。

### (3) 石川県復興支援の取組状況

- ・ 2024年10月の第3回PJ定例会で、元輪島市門前町役場職員有志から、「能登の災害」の演題で講演をしていただき、貴重な情報交換を行いました。発言主旨は、
  - 1 地震発生後、高台の集会所に30日間避難した。(予想より長期)
  - 2 トイレは汲み取り式で遠方から汲み取り車に来てもらった。
  - 3 いちばん困ったのは、スマホなどの通信が長期間不通だった。
  - 4 ボランティアは有難いが、泊まる宿がない。
  - 5 水道がこないときに山の水利用は有効だが、汚染されていて浄化が必要。浄化には装置だけでなく管理スタッフが必須条件となる。
  - 6 電力、食物、水も大事だが、知り合いを含めて連絡を頂く事が(寄り添っていたくこと)一番嬉しかった。



土湯温泉



土湯温泉綿花定



宮城プラザオープン

テープカットが行われた宮城ふるさとプラザのオープニングセレモニー 28日午前

## 49. 《起業家支援チーム》

今年度も無償支援を2件行いました。NPOクラブのメンバーに推薦頂いた企業を対象に書類審査と面談を行い、無償支援の対象を決定しています。

今年度の支援対象のうち1社は、「グローバルビジネスにおけるリスク管理ソフト（SaaS）の開発・販売」を行う企業でした。当チームでは、海外進出している企業に、一定程度のニーズがあると想定していましたが、マッチングには困難を感じました。

一方で、マッチング面談の際に頂いたコメントなどをフィードバックできたことは今後の事業発展に資するものと思います。

もう1つの支援先は「シニアの活性化を通じて日本をより良い国に発展させていくこと」を標榜するシニア人材紹介企業でした。同社が希望する企業へのマッチングを行いました。

また、同社が提供する複数のサービスのうち、顧問を企業に紹介するサービスなどNPOクラブの「人材不足対策支援」の一環としても同社の活動と提携した動きを進めています。

チーム活動の目標は年間に2社の無償支援を行うことですが、今年度で3年間連続して目標を達成しました。活動の方法は、会議は基本的にオンラインで、メンバー同士が実際に会うことはありません。懇親のために年に2回一同に会して会話できる場を設けています。



下半期の懇親会の様子

## 50. 《人材不足対策支援チーム》

少子高齢化のもと我が国はあらゆる産業が「人手不足」に陥っています。特に大企業より中堅・中小企業、大都会より地方の傾向が強くなっています。

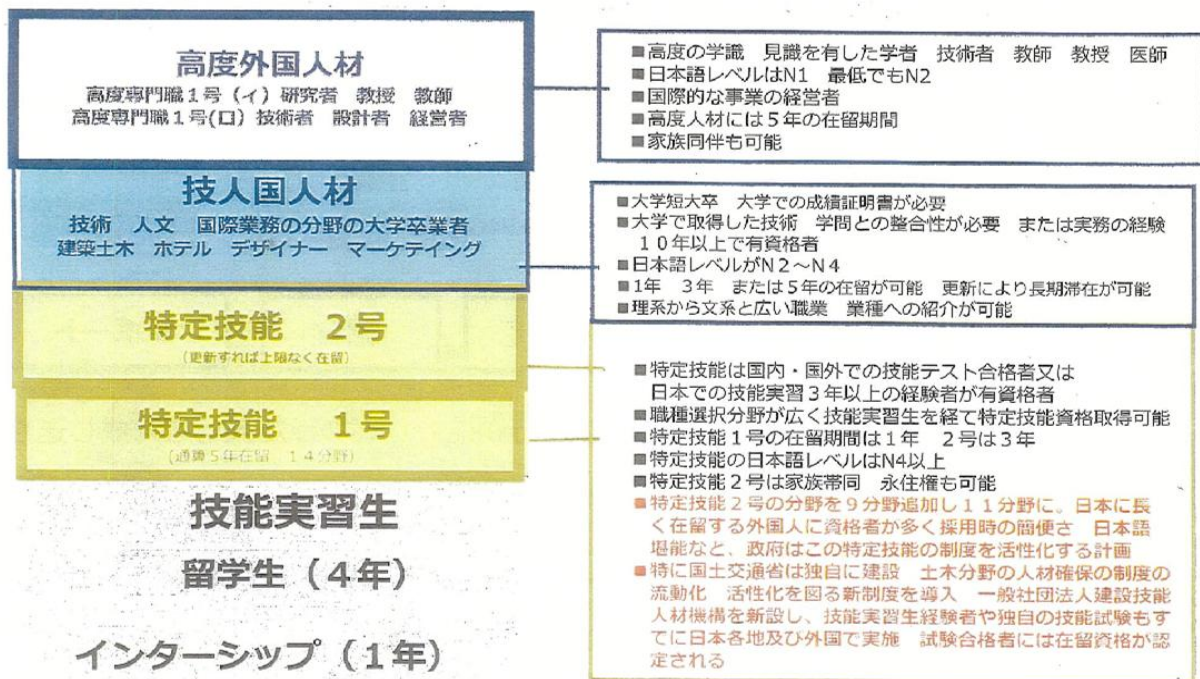
これは、まさしくNPOクラブが率先して取り組まなければならない課題ということで、昨年の中期活動方針の重点課題として、4月にいち早く「人材不足対策支援チーム」を発足し、10名のメンバーで毎月定例会を実施し、活動を開始しました。

人材不足対策の大きな柱は次の2つです。

1. 外国人材紹介（送り出し機関等を通じて、ニーズ先の企業に紹介）
2. シニア人材（シニア版ハローワーク）の活用です。

既に、中小企業をはじめ数多くの企業の皆様とコンタクトを取り、実情把握と外国人材の紹介を実施して実績も上がっています。業種としては、製造業・流通業・小売りスーパー・医療福祉・建設業・運輸業・農林水産・ホテル・情報サービス業その他です。

### 外国人材の分類



## 51. 《特定支援会員連携チーム》

(1) NPOクラブの会員制度の一つである「特定支援会員」48社（2025年3月現在）へのサービス向上と連携強化を目指して、2020年12月に活動を開始し4年が経過しました。

(2) 特定支援会員契約による販路開拓支援を中心とする支援活動とは別に、無償で下記のサービスを行っております。

1. 特定支援会員向けWebセミナーを隔月開催しています。

NPOクラブの研究会活動成果や時宜を得た関心が高いテーマを会員個人の知見等を踏まえて講演しております。

2. 特定支援会員交流会を開催しています。

2024年4月以降実施したセミナーは以下の通りです。

- 1) 第40回 4月22日 第1回特定支援会員交流会 21社23名参加  
「接着剤レス接合方法の基礎と応用」  
東京大学生産技術研究所 梶原優介教授
- 2) 第41回 5月21日「進化型モバイル通信5Gの現状とIoT社会・仕事への影響」  
塚本活也
- 3) 第42回 6月18日「中小企業における工場の生産性改善への取り組み方」渡部信幸
- 4) 第43回 7月23日「空飛ぶクルマ」～次世代空モビリティとは～ 佐藤敏夫
- 5) 第44回 9月24日「ビジネスチャンスはどう生かす」～佳境を迎える展示商談会～  
長和雄
- 6) 第45回 11月19日「医療サプライチェーンの現状と参入に当たっての留意点」  
三浦秀明
- 7) 第46回 1月21日「気になる技術ピックアップ集」  
～正会員が展示会等で見た気になる技術を紹介～  
オムニバス方式 小林徹・零二公雄・水越正孝
- 8) 第47回 3月25日「温暖化ガス排出削減への取り組み」  
～CNへの取り組みはまったなし～ 関口清
- 9) 第2回特定支援会員交流会 2025年4月21日(月曜日) 於：日本教育会館

#### <第2回特定支援会員交流会の詳細>

1. 日時：2025年4月21日(月曜日) 13:00～19:00
2. 場所：神田一ツ橋 日本教育会館 702会議室
3. 参加者：特定支援会員 20社、特別参加 3社 計27名、正会員：理事長以下34名  
参加者計 リアル61名+オンライン8名=69名
4. 次第  
①参加各企業の会社紹介・事業技術等のPR  
②特別講演 東京大学生産技術研究所 山川雄司准教授  
「高速柔軟ロボティクスとその応用」
5. 懇親会：9階「光琳の間」参加者全員参加



## 5 2. 《国内・海外ポータルサイトチーム》

2024年6月1日、国内外ポータルサイトのリニューアルを行いました。具体的には、経営支援NPOクラブのホームページリニューアルに合わせ、ホームページと統合しました。名称を「国内企業支援ポータルサービス」から「企業製品紹介サイト」に変更し、国内・海外ページを統合して見やすい形にしました。

また、NPOクラブのホームページに「企業紹介サイト」へのバナーを設けることで、NPOクラブのホームページからの閲覧が容易になりました。

ホームページのページビューは月間5000超となっており、当該ユーザーの企業紹介ページへの流入が期待できます。掲載ページ数は、会社紹介30社、製品紹介が36製品となっています。さらに「企業PRシートの広場」には現在10社13製品のPRシートが掲載されています。

海外ポータルサイトについては、会社紹介が5社、製品紹介が5製品掲載されています。

NPOクラブホームページとの統合により、皆様の会社や製品が外部の目に触れる機会が増えると考えられますので、新規掲載のご検討をお願いいたします。



## 5 3. 《子ども食堂支援チーム》

NPOクラブは、「楽膳倶楽部子ども食堂」への支援活動を2022年5月から開始し、3年が経過しました。楽膳倶楽部は東京都練馬区光が丘で、地域の高齢者や働くママさんたちに対して、男の料理教室や「みんなでばんごはん」等を実施し、食の支援を行っています。

その一環として、毎月第一日曜日に子ども食堂を開催しています。以前は楽膳倶楽部旭町ハウスでみんなが集って食事をしていましたが、コロナ禍となりお弁当配布形式に変更しました。

NPOクラブは食品ロス削減の観点から、各メーカーの協力の下、企業で処分される冷凍食品や水産加工品等のサンプルを無償で提供いただくとともに、米についてはNPOクラブで調達し、子ども食堂を支援しています。昨年から米の高騰が続いていますが割安な価格でご協力いただいています。

練馬区清掃組合や板橋区等からも寄付をいただいております、子ども食堂来場者へのお持ち帰り品として提供しています。楽膳倶楽部は様々の取り組みを行っていますが、子ども食堂の支援を含め、楽膳倶楽部との取り組みを継続していきたいと思えます。



子ども食堂メニュー



## 5 4. 《広報委員会》

広報委員会では、2024年6月にNPOクラブのホームページを10年ぶりにリニューアルしました。 <https://www.ka-npo.com/>

イメージも一新しましたが、主な変更点は次の通りです。

- (1) トップページの「先ず、NPOクラブとは」からご覧ください。  
新たに、ミッション、ビジョンを明記しています。
- (2) トップページにNPOクラブの2本柱「中小企業支援」と「次世代育成支援」について説明しています。
  - ・ 中小企業支援 ・ ・ ・ 販路開拓、経営相談、企業マッチング
  - ・ 次世代育成支援 ・ ・ ・ 講演会、セミナー
- (3) 宛先で「誰に見てもらいたいか」を明確にしました。
  - ・ 公的機関、金融機関の皆様へ
  - ・ 企業経営者、幹部の皆様へ（一般支援先や中小企業経営者の方々へ）
- (4) 「最新情報」をジャンル分けにして、その都度の情報をなるべく早くお伝えするようにして、一覧で過去の情報も見易くしました
- (5) 「会員入会のご案内」をトップページにもってきたので、新入会員希望の問い合わせが増えました。
- (6) 「会員活動実績」を6つにジャンル分けして、新たにトップページに入れましたが、こちらは、会員の活動を対外的に紹介出来るものや、今後会員から情報をいただきながら、インパクトのある表現に工夫していきたいと思います。
- (7) 「特定支援会員様専用」および「企業紹介サイト」を紹介しています
  - ・ 「特定支援会員様専用」はWEBセミナー等のご案内が主です。
  - ・ 「企業紹介サイト」は、従来の「国内ポータルサイト、海外ポータルサイト」を移管して、取引先の皆様の製品・商品紹介を行っています。

HPリニューアル後のPV（ページビュー）は年間約65,000PV、ユーザー数は約12,000人です。

## 2024（令和6）年度の活動概要 《事務局報告》

### 1. 公的機関等からの受託契約実績（契約日順）

| 契約先                        | 内容                                              | 契約日           |
|----------------------------|-------------------------------------------------|---------------|
| 公益財団法人高知県産業振興センター          | 令和6年度ものづくり外商促進事業に係る商談機会創出等業務                    | 令和<br>6.04.01 |
| 公益財団法人板橋区産業振興公社            | 令和6年度ビジネスチャンス開拓支援事業業務委託                         | 令和<br>6.04.01 |
| 公益財団法人かがわ産業支援財団            | 令和6年度発注開拓支援事業に係る商談機会創出等業務委託                     | 令和<br>6.04.01 |
| 三重県                        | 医療・福祉機器等ヘルスケア分野への進出・事業拡大支援業務委託                  | 令和<br>6.04.01 |
| 栃木県                        | 「令和6年度とちぎ新技術・新工法展示商談会」実施業務委託                    | 令和<br>6.04.09 |
| 一般財団法人四国産業・技術センター          | 販路開拓支援業務委託                                      | 令和<br>6.04.10 |
| 公益財団法人板橋区産業振興公社            | 令和6年度板橋区・北区ものづくり企業商談会発注企業招致業務委託                 | 令和<br>6.04.16 |
| 経済産業省                      | 令和6年度中堅・中核企業の経営力強化支援事業（プラットフォーム構築による新事業展開等支援事業） | 令和<br>6.05.15 |
| 秋田県                        | 医療機器サプライチェーン再構築チャレンジ事業業務委託                      | 令和<br>6.0528  |
| 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構      | 販路拡大・新規事業展開に係るマッチング支援業務委託                       | 令和<br>6.06.10 |
| 公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 | 福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業マッチング支援業務委託         | 令和<br>6.06.13 |
| 公益財団法人しまね産業振興財団            | 成長分野等の発注企業開拓活動業務委託（しまねものづくり企業交流会 in 東海）         | 令和<br>6.06.17 |
| 公益財団法人みやぎ産業振興機構            | 生産現場改善強化支援事業専門家派遣型業務委託                          | 令和<br>6.07.26 |
| PwCコンサルティング合同会社            | コンサルティング・サービス提供等支援業務（NEDO案件）                    | 令和<br>6.07.31 |
| PwCコンサルティング合同会社            | コンサルティング・サービス提供等支援業務（農林水産省案件）                   | 令和<br>6.08.01 |
| 一般財団法人四国産業・技術センター          | 「令和6年度フードテック分野における知財活用支援事業」における技術マッチング事業        | 令和<br>6.08.20 |
| いわき商工会議所                   | 「ものづくり企業個別支援プロジェクト」業務委託                         | 令和<br>6.09.01 |
| 公益財団法人しまね産業振興財団            | 成長分野等の発注企業開拓活動業務委託（しまねものづくり企業交流会 in 関西）         | 令和<br>6.11.11 |

|                 |                                                        |               |
|-----------------|--------------------------------------------------------|---------------|
| 公益財団法人名古屋産業振興公社 | 「次世代ものづくり基盤技産業展２０２５支援業務」に係る業務委託                        | 令和<br>6.12.13 |
| 荒川区             | ワークショップへの講師派遣協定書                                       | 令和<br>7.01.26 |
| 株式会社地域計画建築研究所   | 令和６年度グリーンビジネス戦略構築・事業化支援業務に係る「専門家による川下企業とのマッチング支援等」業務委託 | 令和<br>7.03.31 |

## ２．２０２４年度支援実績（件数）

| マッチング① | 面談②   | 支援企業数 | 企業招致数 | 講演・研修 | 市場調査 | ①+②計  | 2023年度<br>実績 |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------------|
| 1,952  | 1,134 | 1,371 | 768   | 52    | 0    | 3,086 | 2,903        |

2023年度比  
+183

## ３．２０２４年度４月以降の理事会での主な討議事項（対外事項のみ）

|     |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ４月  | ☆販路開拓支援委託契約の名称変更および内容の見直しについて（酒井事務局長）<br>☆令和６年度三重県「医療・福祉機器等ヘルスケア分野への進出・事業拡大支援業務委託」に係る活動に関する内規（案）（松本理事）<br>☆経産省案件「中堅・中核企業の経営力強化支援事業補助金」について（近藤理事）<br>☆関東経産局マネジメントメンター制度について（近藤理事）<br>☆メルマガ通信の仕様変更とホームページのリニューアルについて（井料理事） |
| ６月  | ☆（株）紫光技研の特別支援制度審査委員会審査結果報告（松本理事）<br>☆ホームページのリニューアルについて（井料理事）                                                                                                                                                             |
| ７月  | ☆秋田県医療機器サプライチェーン再構築支援事業（高尾リーダー）<br>☆福島県イノベーションコースト構想展示会マッチング支援事業（零理事）<br>☆経産省中堅・中核企業の経営力強化支援事業（錦織理事）                                                                                                                     |
| ９月  | ☆経産省案件の進捗報告（錦織理事）                                                                                                                                                                                                        |
| １０月 | ☆能登半島大雨被害に対するＮＰＯクラブの対応について（指田理事）<br>☆経産省概算要求における中小企業支援について（松本理事、近藤理事）                                                                                                                                                    |
| １２月 | ☆能登半島大雨被害への義援金最終報告（酒井理事長）                                                                                                                                                                                                |
| １月  | ☆経産省案件の進捗（錦織理事）                                                                                                                                                                                                          |
| ２月  | ☆２０２５年度経産省中堅・中核企業の経営力強化支援事業検討（近藤理事）<br>☆省庁統一資格審査結果について（酒井理事長）                                                                                                                                                            |
| ３月  | ☆令和６年度経済産業省「中堅・中核企業の経営力強化支援事業結果」報告（錦織理事）                                                                                                                                                                                 |

## 会員の現況 (2025年4月末現在)

|        |      |
|--------|------|
| 正会員    | 261名 |
| 賛助会員   | 6社   |
| 特定支援会員 | 56社  |

### 広報委員会 ニュースレター編集担当

(編集後記)

ニュースレターにつきましては、公的機関や支援先企業の皆様にNPOクラブの年間活動報告書として毎年ご覧いただいています。2024年度版も会員の案件チームリーダーやグループリーダーに原稿を依頼し、ようやく出来上がりました。

今年は特に読みやすいようにそれぞれ写真も挿入しています。また、広報チームに新しいメンバーも参画し、専門的な校正も行えるようになり、全体的なバランスも良くなったかと思えます。今後はこれを基に昨年リニューアルしたホームページや活動紹介のパンフレットにも反映して、スムーズに更新していけるようにしたいと思っています。

ぜひ、皆さんに一読していただき、今後ともNPOクラブの活動へのご理解とますますのご協力をお願い申し上げます。

### <広報編集メンバー>

井料 敏和 (リーダー)、谷 文彦 (サブリーダー)、橘田てつ子、井上真己子、松下 隆、宇川 晶子、齊藤江美、杉田一志、宇井野靖子